

平成22年度国・県予算に対する統一要望について

平成 21年5月29日  
市長公室

《総括表》

1 要望件数総括表

(単位：件)

要望件数			内 訳					
			国			県		
合計	新規	継続	小計	新規	継続	小計	新規	継続
29	1	28	16	1	15	13	0	13
(31)	(3)	(28)	(17)	(2)	(15)	(14)	(1)	(13)

※ ( ) 内は前回の要望件数

2 要望先内訳

(1) 国関係

国土交通省	15
文化庁	1
合 計	16

(2) 県関係

県土整備部	12
総合政策部	1
合 計	13

3 各部等の提出内訳

部 等 名	合 計	内 訳	
		国	県
建設部	11	6	5
都市整備部	6	4	2
下水道部	11	6	5
教育委員会	2	1	1
合 計	30	17	13

※国要望No.16は、都市整備部と教育委員会の合同提出

平成22年度

国・県予算に対する統一要望事項(案)

平成22年度 国予算に対する統一要望事項<一覧表>

※備考欄は県に対しても要望している項目

No.	ページ	要望事項 (件名)	新・継	要望先	提出部等名	備考
1	1	一般国道106号「都南川目道路」の整備促進について	継続	国土交通省 (道路局)	建設部	県1
2	3	一般国道106号の直轄指定区間編入について	継続	国土交通省 (道路局)	建設部	県2
3	5	一般国道4号「盛岡北道路」の拡幅整備の促進について	継続	国土交通省 (道路局)	建設部	
4	7	一般国道4号「渋民バイパス」の全線整備促進について	継続	国土交通省 (道路局)	建設部	
5	9	道路局所管盛岡市道路整備事業の推進について	継続	国土交通省 (道路局)	建設部	県3
6	12	都市・地域整備局所管盛岡市街路事業の推進について	継続	国土交通省 (都市・地域整備局)	建設部	県4
7	14	盛岡地区かわまちづくり事業の促進について	新規	国土交通省 (河川局)	都市整備部	
8	17	一般国道46号「盛岡西バイパス」の整備促進について	継続	国土交通省 (道路局)	都市整備部	県6
9	19	盛岡南新都市土地区画整理事業の着実な整備促進について	継続	国土交通省 (都市・地域整備局, 総合政策局, 土地・水資源局)	都市整備部	県7
10	21	盛岡市公共下水道事業費等の確保及び県施行流域下水道事業の整備促進について	継続	国土交通省 (都市・地域整備局)	下水道部	県8
11	22	盛岡市内の直轄管理河川北上川水系治水事業の促進について	継続	国土交通省 (河川局)	下水道部	
12	24	岩手県管理河川改修事業の促進について	継続	国土交通省 (河川局)	下水道部	県9
13	26	都市基盤河川改修事業に係る国庫補助金の確保について	継続	国土交通省 (河川局)	下水道部	県10
14	28	一級河川北上川水系築川ダム建設事業の促進について	継続	国土交通省 (河川局)	下水道部	県11
15	30	急傾斜地崩壊対策事業及び砂防事業の財源確保について	継続	国土交通省 (河川局)	下水道部	県12
16	32	国指定史跡志波城跡保存整備事業, 盛岡城跡保存整備事業及び盛岡城跡保存管理計画策定事業に係る国庫補助金の交付について	継続	文化庁	都市整備部 教育委員会	



平成22年度 県予算に対する統一要望事項<一覧表>

※備考欄は国に対しても要望している項目

No.	ページ	要望事項 (件名)	新・継	要望先	提出部等名	備考
1	35	一般国道106号「都南川目道路」の整備促進について	継続	県土整備部	建設部	国1
2	36	一般国道106号の直轄指定区間編入について	継続	県土整備部	建設部	国2
3	37	道路局所管盛岡市道路整備事業の推進について	継続	県土整備部	建設部	国5
4	38	都市・地域整備局所管盛岡市街路事業の推進について	継続	県土整備部	建設部	国6
5	39	盛岡市内の県道の整備促進について	継続	県土整備部	建設部	
6	45	一般国道46号「盛岡西バイパス」の整備促進について	継続	県土整備部	都市整備部	国8
7	46	盛岡南新都市土地区画整理事業の着実な整備促進について	継続	県土整備部	都市整備部	国9
8	47	盛岡市公共下水道事業費等の確保及び流域下水道事業の整備促進について	継続	県土整備部	下水道部	国10
9	48	岩手県管理河川改修事業の促進について	継続	県土整備部	下水道部	国12
10	50	都市基盤河川改修事業に係る国庫補助金及び県費補助金の確保について	継続	県土整備部	下水道部	国13
11	51	築川ダム建設事業の促進について	継続	県土整備部	下水道部	国14
12	52	急傾斜地崩壊対策事業及び砂防事業の促進について	継続	県土整備部	下水道部	国15
13	53	2巡目岩手国体主会場の誘致等について	継続	総合政策部	教育委員会	



# 国予算に対する統一要望事項

## 一般国道 106 号「<sup>となんかわめ</sup>都南川目道路」の整備促進 について

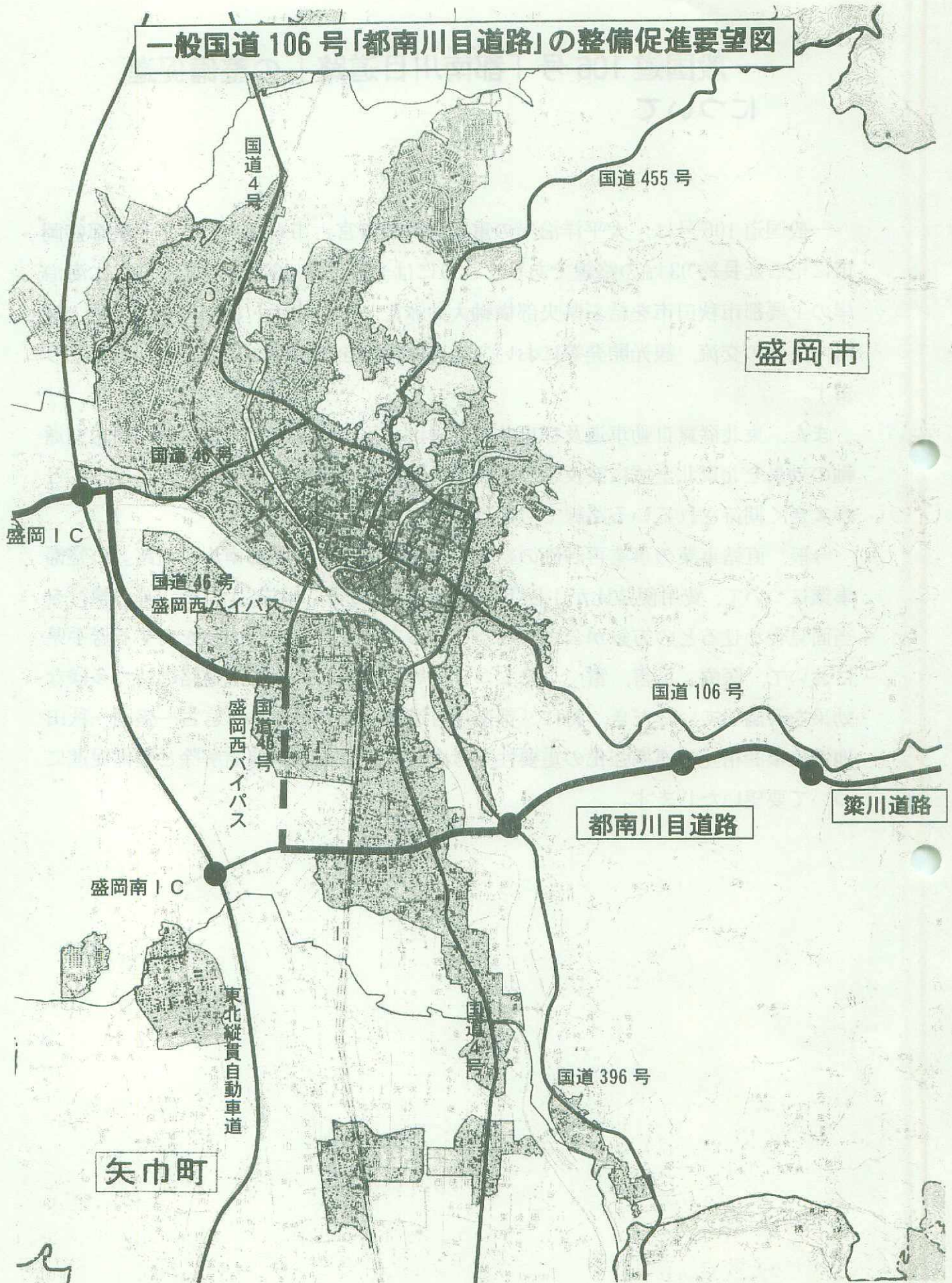
一般国道 106 号は、太平洋沿岸の重要港湾都市宮古市を起点として、県都盛岡市に至る延長約 93 km の路線であり、さらには一般国道 46 号と連結し、日本海沿岸の主要都市秋田市を結ぶ県央部横軸大動脈として、岩手・秋田両県の産業・経済・文化の交流、観光開発等において大きな役割を担う極めて重要な路線であります。

また、東北縦貫自動車道及び東北新幹線による中央と東北を結ぶ縦の高速交通軸の効果を北東北全域に波及させ、国土の均衡ある発展に重要な役割を担うことが大きく期待されている路線でもあります。

今般、直轄事業の事業再評価の結果、一般国道 106 号「都南川目道路」の整備事業について、費用便益比が 1 以下となったことから、平成 21 年度予算の執行を当面見合わせるとの方針が公表されたところですが、広大な面積を有する岩手県において、医療、災害、雪、コミュニティ等地域ごとに異なる道路の持つ多様な効果を評価していただき、特に「都南川目道路」については、宮古～盛岡～秋田地域集積圏相互の連携強化の重要性を考慮し、早急な事業凍結解除と整備促進について要望いたします。



一般国道 106 号「都南川目道路」の整備促進要望図





## 一般国道 106 号の直轄指定区間編入について

一般国道 106 号は、太平洋沿岸の重要港湾都市宮古市を起点として、県都盛岡市に至る延長約 93 km の路線であり、さらには一般国道 46 号と連結し、日本海沿岸の主要都市秋田市を結ぶ県央部横軸大動脈として、岩手・秋田両県の産業・経済・文化の交流、観光開発等において大きな役割を担う極めて重要な路線であります。

また、東北縦貫自動車道及び東北新幹線による中央と東北を結ぶ縦の高速交通軸の効果を北東北全域に波及させ、国土の均衡ある発展に寄与する重要路線でもあります。

しかしながら、本路線は北上高地を越え、蛇行する溪流に沿って曲折した道路であり、また、冬期間においては、積雪、凍結による交通障害が地域経済の発展を妨げる大きな要因ともなっております。

このような状況から、平成 6 年 12 月に地域高規格道路として指定を受け、一部区間については、「都南川目道路」として直轄権限代行により整備に着手されているほか、「宮古盛岡横断道路築川道路」につきましても整備が大きく進展しており、東北の骨格道路としての位置付けが一層明確になっているところです。

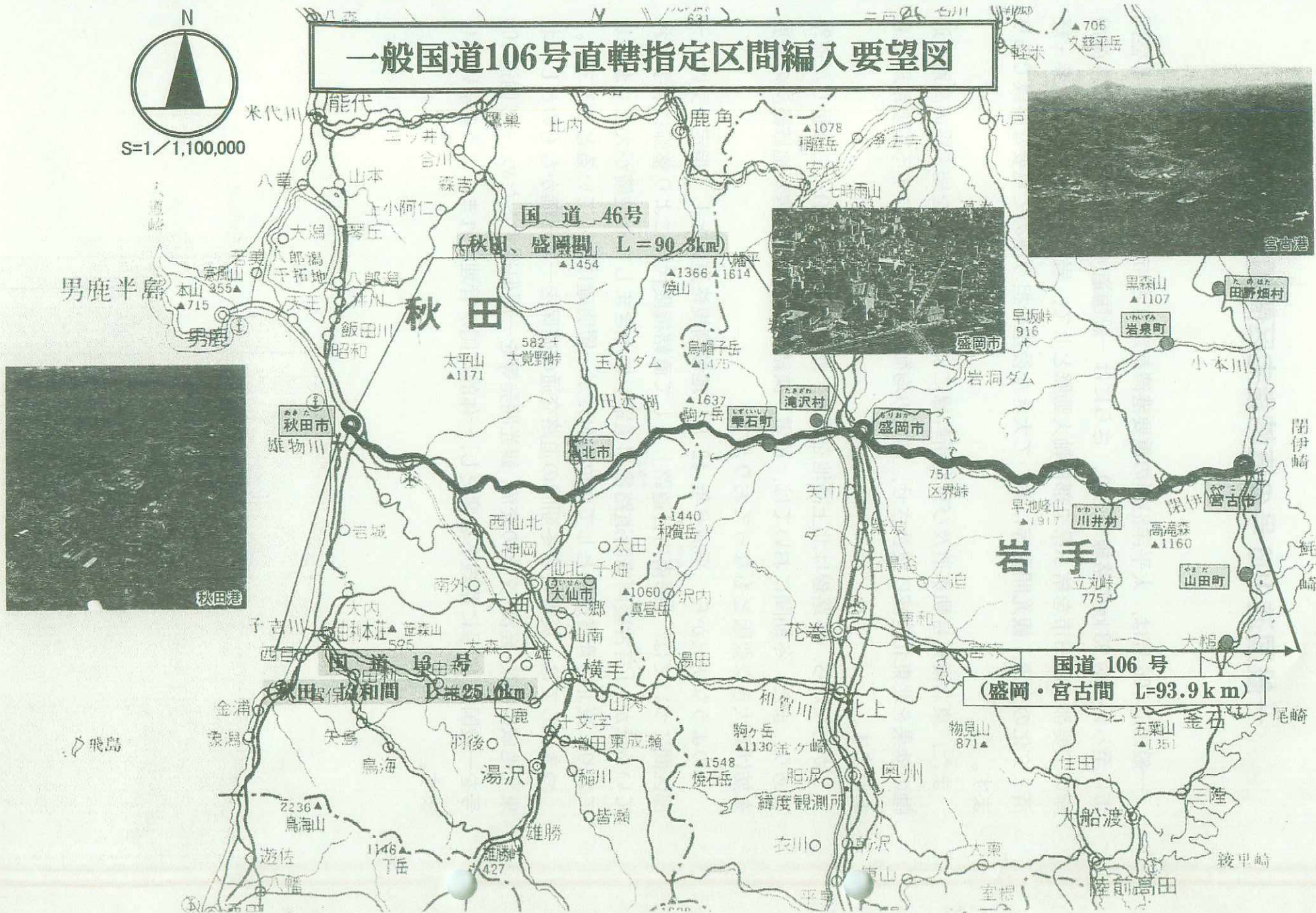
つきましては、災害時や冬期間の道路交通の確保を一段と確かなものとし、北東北地域の産業・経済・文化の交流、観光開発等を一層促進するため、一般国道 106 号を一般国道 46 号に路線名を変更し、一体的に国が管理されますよう要望いたします。





S=1/1,100,000

# 一般国道106号直轄指定区間編入要望図





## 一般国道4号「盛岡北道路」の拡幅整備の促進について

一般国道4号は、岩手県内主要都市を縦断し、東日本の社会・経済活動を支える大動脈として極めて重要な路線となっております。

また、一般国道282号及び281号と連結し、県都と盛岡以北内陸と沿岸を結ぶ、産業、観光、医療、生活等各活動の幹線道路として重要な役割を担っております。

しかし、盛岡市の北の玄関口である茨島<sup>ばらじま</sup>跨線橋～滝沢村分<sup>わかれ</sup>南交差点間については、日交通量が3万台以上にもかかわらず、片側1車線しかなく、慢性的な渋滞が続いております。

また当該区間は、高速道路並行区間であるものの、冬期間においては気象条件等により通行止めが多発し、結果として渋滞に拍車がかかる状況となっております。

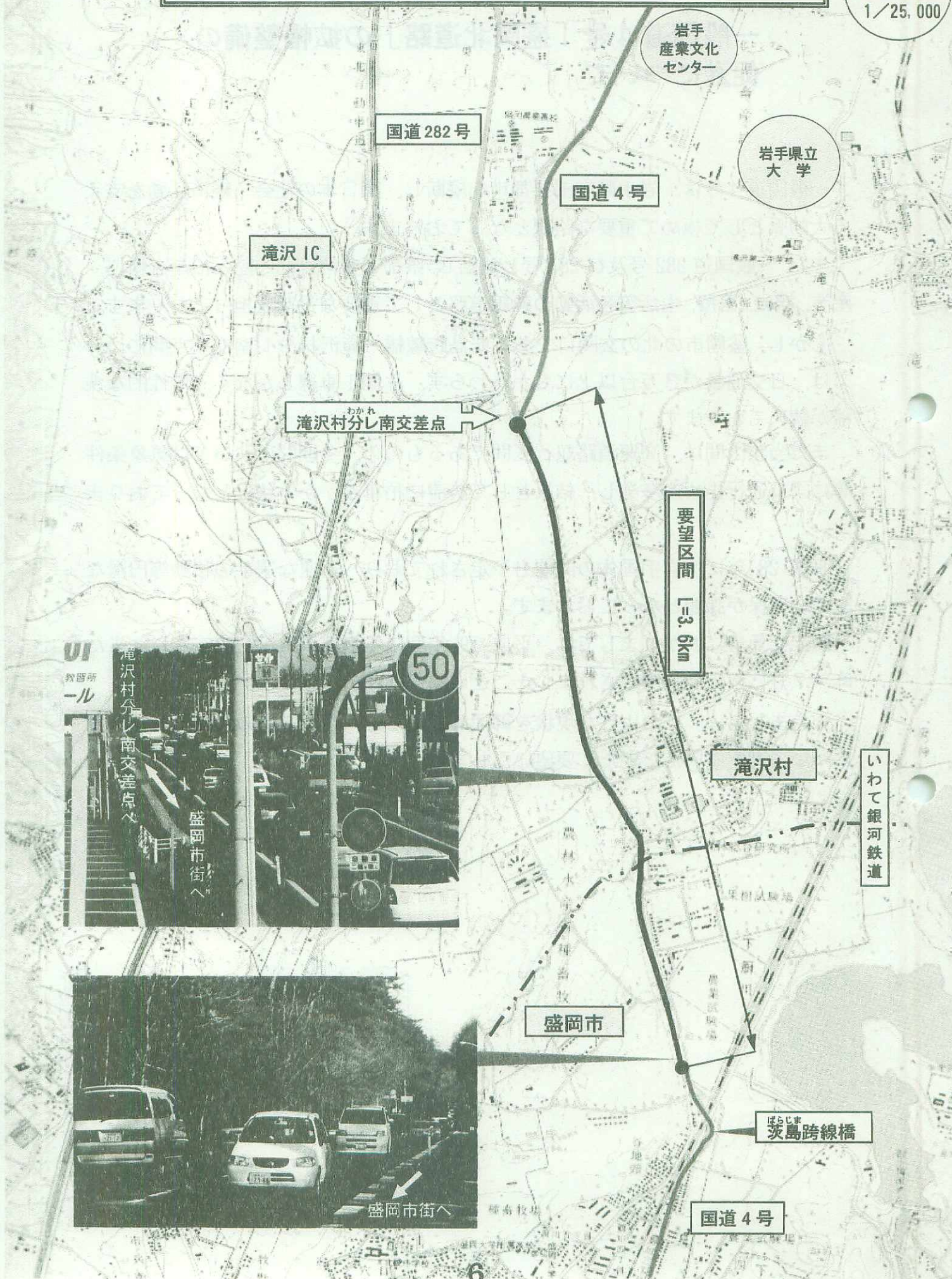
平成28年には岩手国体の開催も予定されており、迅速な選手の移動等円滑な交通の確保が課題となっております。

国土交通省におかれましては、平成19年度に4車線事業化を決定され、また昨年7月に都市計画決定されましたことに深く感謝申し上げます。

つきましては、このような現状を御理解いただき、当該道路の早期の拡幅整備について御配慮いただきたく要望いたします。



# 一般国道4号「盛岡北道路」拡幅整備促進要望図



岩手産業文化センター

岩手県立大学

国道282号

国道4号

滝沢IC

滝沢村分れ南交差点

要望区間 L=3.6km

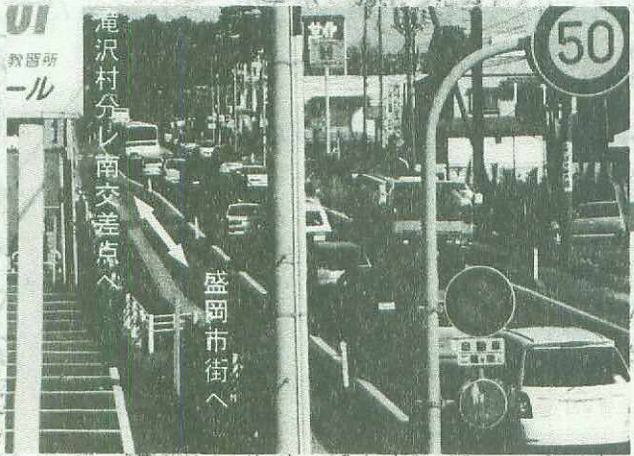
滝沢村

いわて銀河鉄道

盛岡市

ほらじま炭島跨線橋

国道4号





## 一般国道4号「<sup>しづたみ</sup>渋民バイパス」の全線整備促進 について

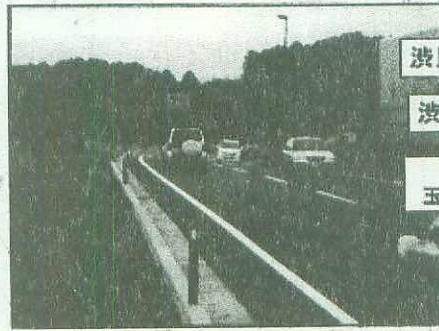
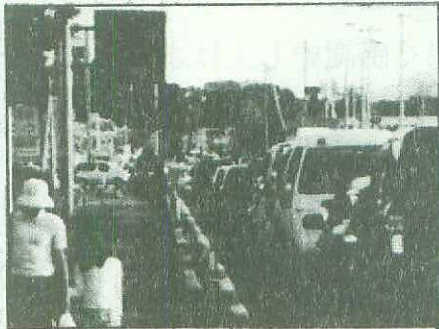
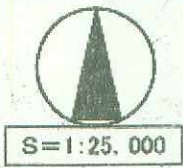
一般国道4号「渋民バイパス」につきましては、厳しい財政状況下にもかかわらず、計画的、重点的に事業の推進が図られ、平成16年12月には部分供用の運びとなり、また未供用区間につきましても随時事業を推進していただいておりますことは、国土交通省御当局の御配慮によるものと深く感謝申し上げます。

一般国道4号は、岩手県下の主要都市を縦断し、盛岡以北沿岸地域と県都を結ぶための主要な幹線道路となっており、特に、県内市町村の合併に伴う広域生活圏の拡大もあり、地域経済の活性化と生命に関わる高次救急医療体制の確保等大動脈として極めて重要な役割を果たしている路線であります。

つきましては、地域社会の発展を支えるネットワークの構築を図り、地域住民をはじめ県北沿岸地域までの県民が、地域間の連帯と交流を強化促進できるよう、一日も早い一般国道4号「渋民バイパス」の全線整備を要望いたします。



# 一般国道4号渋民バイパス全線整備促進



好摩駅西地区  
地区計画

好摩駅東地区  
地区計画

茅田地区  
地区計画

道地区  
地区計画

北上川

いわて銀河鉄道

一般国道4号

要望区間  
(L=3,100m)

渋民運動公園

渋民文化会館

盛岡市役所  
玉山総合事務所

渋民地区

イオンSC  
盛岡渋民店

石川啄木記念館

北上川

渋民地区  
地区計画

渋民バイパス  
(供用区間)  
(L=2,500m)

渋民駅周辺地区  
地区計画

一般国道4号

盛岡工業団地



## 道路局所管盛岡市道路整備事業の推進について

盛岡市は県都として、また、北東北の交流拠点都市を目指し、行政、経済、教育・文化、医療等の高次の都市機能を備えたまちづくりとともに、これらの都市機能を支える基盤の整備に鋭意努めているところであります。

しかしながら、慢性的な交通渋滞の解消や歩行者の安全確保を図るためには、道路整備の実情は未だ十分とはいえない状況にあり、広域連携等の推進を図るための道路整備をはじめとして、交通安全施設の整備が急務となっております。

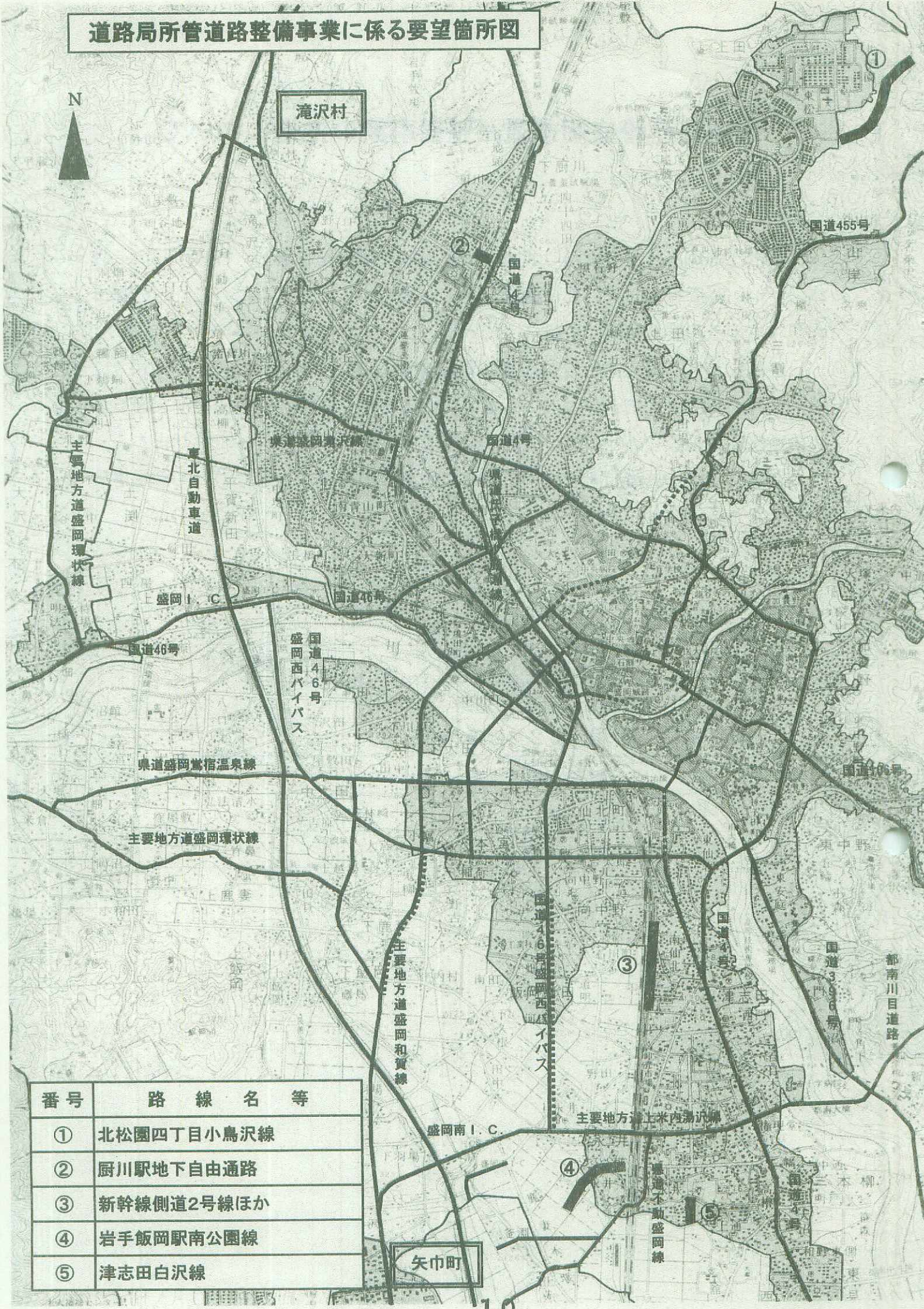
つきましては、道路局所管盛岡市道路整備事業の着実な推進について御配慮いただきたく要望いたします。

区 分	路 線 名	工 種
継 続	<small>きたまつその</small> 北松園四丁目 <small>ことりざわ</small> 小鳥沢線	道路改築
継 続	<small>くりやがわ</small> 厨川駅地下自由通路	〃
継 続	新幹線側道2号線ほか	〃
新 規	<small>いわていいおか</small> 岩手飯岡駅南公園線	〃
新 規	<small>しもだおいで</small> 下田生出線	〃
新 規	<small>つしだしらさわ</small> 津志田白沢線	〃

区 分	路 線 名	工 種
継 続	北松園四丁目小鳥沢線	①
継 続	厨川駅地下自由通路	②
継 続	新幹線側道2号線ほか	③
新 規	岩手飯岡駅南公園線	④
新 規	下田生出線	⑤
新 規	津志田白沢線	⑥



# 道路局所管道路整備事業に係る要望箇所図





道路局所管道路整備事業に係る要望箇所図



滝沢村

番号	路線名等
⑥	下田生出線



## 都市・地域整備局所管盛岡市街路事業の推進 について

盛岡市は県都として、また、北東北の交流拠点都市を目指し、現都心から盛岡南新都心地区に至る軸状都心の計画的な形成を図りながら、行政、経済、教育・文化、医療等の高次の都市機能を備えたまちづくりとともに、これらの都市機能を支える基盤の整備に鋭意努力しているところであります。

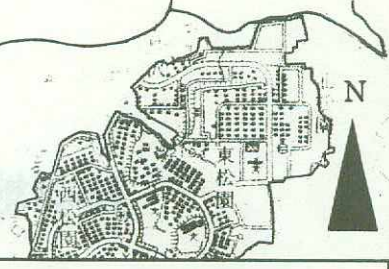
しかしながら、既成市街地は、城下町特有である道路整備率の低さのため多車線道路が少なく、バス等の公共輸送機関の有効活用が図られない状況となっており、さらに、新市街地の形成や隣接町村への市街地の拡大等により交通需要は増加の傾向をたどり、既成市街地の主要道路や中心市街地へ連絡する幹線道路等は、恒常的な交通混雑を引き起こし、円滑な都市活動や安全な交通の確保等が著しく阻害されており、街路の整備が急務となっております。

つきましては、次の街路事業の着実な推進について御配慮いただきたく要望いたします。

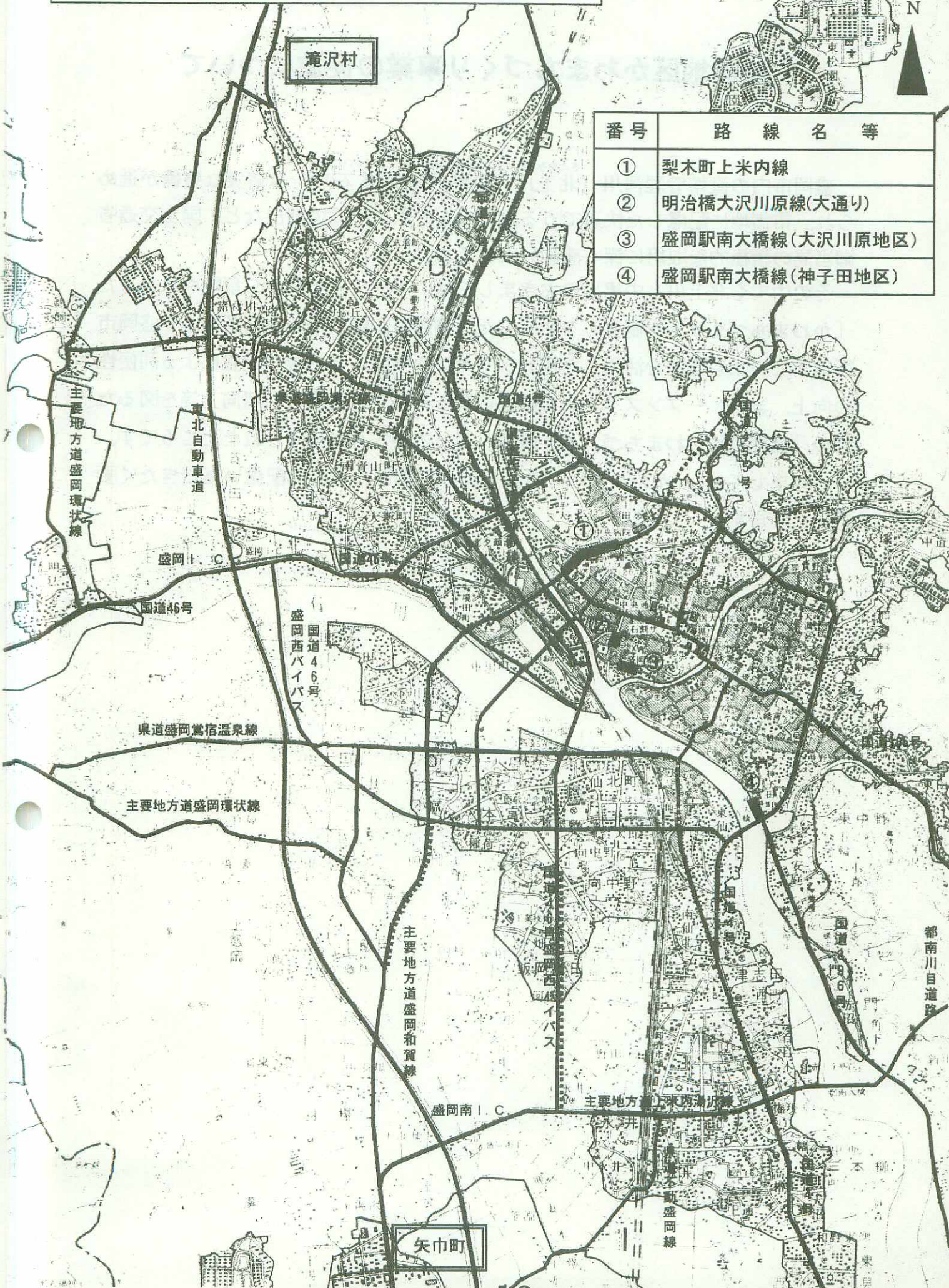
区 分	路 線 名	要 望 地 区	事 業 名
継 続	<small>なしのきちょうかみよない</small> 梨木町上米内線	<small>なしのき</small> 梨木地区	街路事業
継 続	<small>もりおかえきみなみおおはし</small> 盛岡駅南大橋線	<small>みこだ</small> 神子田地区、 <small>おおさかわら</small> 大沢川原地区	〃
継 続	<small>めいじばしおおさかわら</small> 明治橋大沢川原線	<small>おどおり</small> 大通地区	〃



都市・地域整備局所管街路事業に係る要望箇所図



番号	路線名等
①	梨木町上米内線
②	明治橋大沢川原線(大通り)
③	盛岡駅南大橋線(大沢川原地区)
④	盛岡駅南大橋線(神子田地区)





## 盛岡地区かわまちづくり事業の促進について

盛岡市内の直轄管理河川（北上川、<sup>きたかみがわ</sup>中津川及び<sup>なかつがわ</sup>雫石川<sup>しずくいしがわ</sup>）は着実な整備が進められ、市街地に配慮した快適でうるおいのある水辺空間の創出など、国土交通省御当局の積極的な取組に深く感謝いたしております。

その中でも北上川と中津川におきましては、平成 21 年度から創設されました「かわまちづくり支援制度」を活用した、盛岡の玄関口である盛岡駅から盛岡市街地までの水辺空間を活用した観光アクセスの整備、案内板の設置による利便性の向上、またオープンスペースの整備による市民や観光客の利用向上等を図るための「盛岡地区かわまちづくり計画書」が、本年5月に認定されたところです。

つきましては、「かわまちづくり」事業の促進について御配慮いただきたく要望いたします。



# 盛岡地区かわまちづくり事業(概要版)

## 事業の概要

盛岡市は、北上川・中津川の合流点に位置した丘陵地を利用して1597年に築かれた南部藩主の居城(盛岡城)を中心に城下町として栄え、現在の盛岡市都心部へと変遷を辿る。今日では、「盛岡城跡公園」と「中津川」を中心に歴史的建造物や史跡が多く存在し、また新渡戸稲造、平民宰相といわれた原敬、歌人の石川啄木といった偉人達のゆかりの地として多くの足跡が残っている。また、都市化する反面、市内中心部を流れる北上川、中津川には多くの自然が残り、これまでの散策路整備により市民の間では憩いの場や通勤通学など多く利用され、また河川の自然・石積景観が市中心部の顔となる景観を形成している。

当地は昨年、連続テレビドラマの舞台にもなり、東北新幹線で東京から約150分、仙台から約50分という利便性の良さもあり、北上川・中津川を観光資源として活用する機運が高まっているが、盛岡市街地に訪れる年間約470万人の観光客が利用できるような案内表示やアクセスが整備に至っていない。

このため、盛岡の玄関口である盛岡駅から盛岡市街地までの水辺空間を活用した観光アクセス・案内整備による利便性向上、またオープンスペースの整備による利活用や観光客の利用向上のための整備を実施するものである。

## 【ドラマの概要】

タイトル:「どんと晴れ」  
 放映期間:H19.4~9月の全26週156回を全国放映  
 あらすじ:岩手県盛岡市を舞台に、名門旅館に飛び込んだ都会育ちのヒロインが、伝統と格式の前で孤軍奮闘しながら成長していく様を爽やかに描いた。



盛岡市内にある三大麺のお店は、全部で約50店舗立ち並んでいる。また平成18年度の総務省がとりまとめた「中華麺消費量が全国の県庁所在地で一位」になるほど「麺のまち」として全国的知名度が高い。



## 至青森

「盛岡さんさ踊り」(入込客数約80万人)  
 8月1~4日に行われ、東北五大祭りのひとつ

宮沢賢治のモニュメント  
 新婚の啄木が暮らした家で(明治38年)、武家屋敷としても貴重。随筆「我が四畳半」にはこの頃の事が執筆されている。

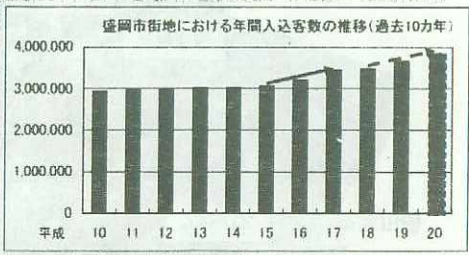
開運橋から眺める北上川と岩手山は絶景であり、市民の憩いの場としても利用され、盛岡を代表する景観の一つである。

啄木新婚の家  
 寛永10年(1633)に完成し、今も残る石垣は会津、白河とともに東北三名城の1つに数えられる。また、秋から冬の夜はライトアップされる。

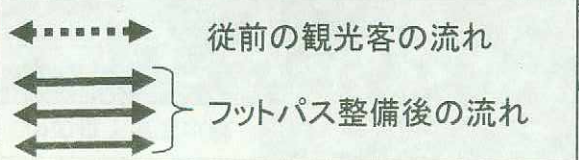
樹齢350年とも言われるエドヒガンザクラ。  
 国の天然記念物。

上の橋 擬宝珠 (国指定重要芸術品)  
 石割桜 岩手県庁

盛岡市中心部を流れる中津川は石積護岸の景観を保ち、周辺の歴史的建造物とあわせ、城下町風情を味合うことができる。



平成16~17年の入込客増は平成16年に放映された大河ドラマ「義経」の効果による。今回、平成19年放映の連続ドラマ「どんと晴れ」効果により平成19~20年も入込客増の見込みであり、平成21年以降も入込客の定着が期待される。



至仙台  
 下町資料館  
 新渡戸稲造 生誕の地  
 啄木父子の歌碑 (三川合流の景観スポット)  
 至青森

新渡戸稲造は文久2年(1862年)、盛岡生まれ、「武士道」等の著作が有名。

かつて城下町鎮護のためにおかれた南部家の氏神で、県下一の大社。境内には戦時中、首相や海軍大臣を務めた米内光政の銅像がある。

明治14年(1911)に建てられた旧盛岡銀行で国の重要文化財。赤いレンガ造りの美しい外観が目を引き、ライトアップされると、一段と鮮やかである。



中の橋下流高水敷

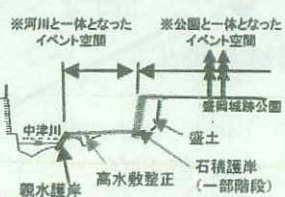


岩手県庁

盛岡城跡公園

フットパス

広場整備イメージ(賑わいの場の創出)



至  
観光  
交流  
促進  
施設

かわまちづくりのエリア

北上川:L=2.4km  
(明治橋~夕顔瀬橋)  
中津川:L=3.4km  
(合流点~中津川橋)

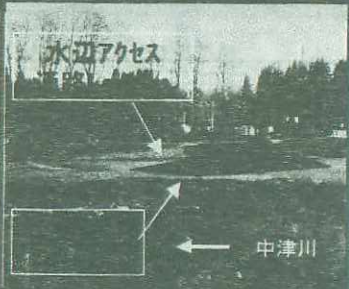


フットパス(整備後のイメージ)



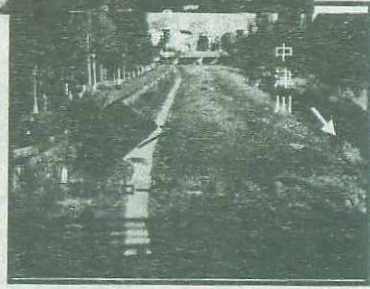
位置図

盛岡市



水辺アクセス

中津川



中の橋下流整備イメージ



坂路の緩傾斜化

水際へのアクセス通路

浸食防止  
(親水護岸)

「高水敷を利用した年間行事」

伝統行事「チャグチャグ風コ」  
(入込客:約16万人)



高水敷の利用状況



高水敷の利用状況



「どんと晴れ」効果をねらって、オープンカフェ等の社会実験を実施

【水辺のオープンカフェ】

【夜のオープンカフェ】

【地元高校生による水辺の清掃会】

【中津川に浮かぶお祭り】

橋梁を目印にフットパス沿いに案内看板を設置

案内標示板

案内板イメージ

案内板

QRコード

河川管理者と市が連携し、QRコード等を活用して、散策マップや、近隣の情報を提供する。



## 一般国道 46 号「盛岡西バイパス」の整備促進 について

一般国道 46 号「盛岡西バイパス」は、都市再生機構が施行する盛岡南新都市土地区画整理事業にとりまして極めて重要な路線であり、直轄事業化が図られましたことは、本事業の促進に大きく寄与しますとともに、本市が目指す北東北の交流拠点都市の形成にとりまして大きな前進となるものと深く感謝いたしております。

盛岡西バイパスは、一般国道 106 号「都南川目道路」と連動する路線として、秋田～盛岡～宮古を結ぶ地域連携軸の形成や関係市町村との交流拠点となる本都市圏の交通確保等のため、また、地域高規格道路としての機能確保を図ることからも必要不可欠な路線となっております。

つきましては、一般国道 46 号「盛岡西バイパス」の整備促進について要望いたします。



# 一般国道46号「盛岡西バイパス」の整備促進説明図

至 都南川目道路

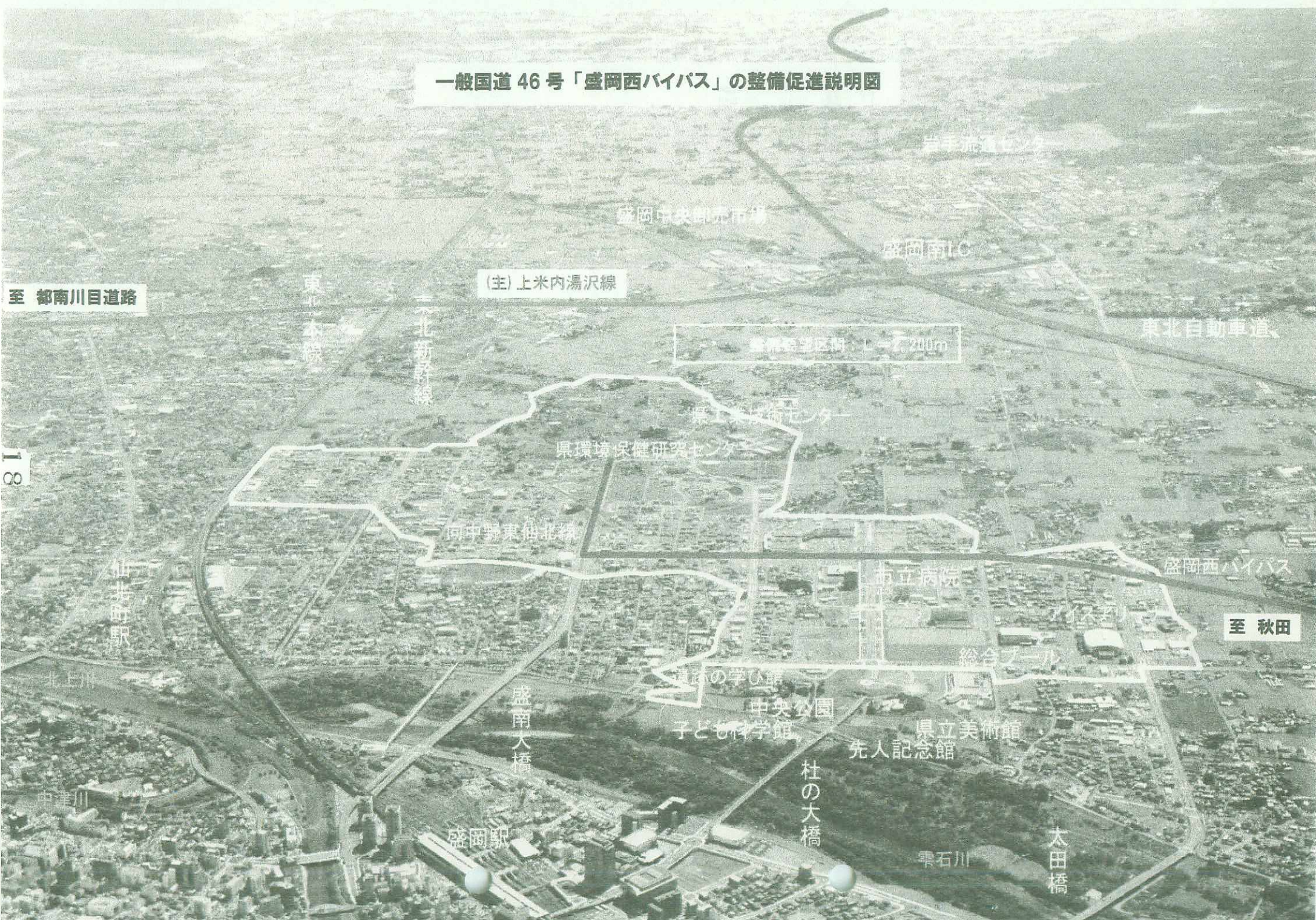
18

(主) 上米内湯沢線

盛岡希望区画 100m x 200m

東北自動車道

至 秋田



東北新幹線

東北本線

岩手県庁

盛岡中央郵便市場

盛岡南IC

県立総合技術センター

県環境保健研究センター

向中野東仙北線

市立病院

盛岡西バイパス

総合ビル

道の学び館

中央公園

子ども科学館

県立美術館  
先人記念館

杜の大橋

盛南大橋

盛岡駅

雫石川

太田橋

仙北駅

北上川

中津川



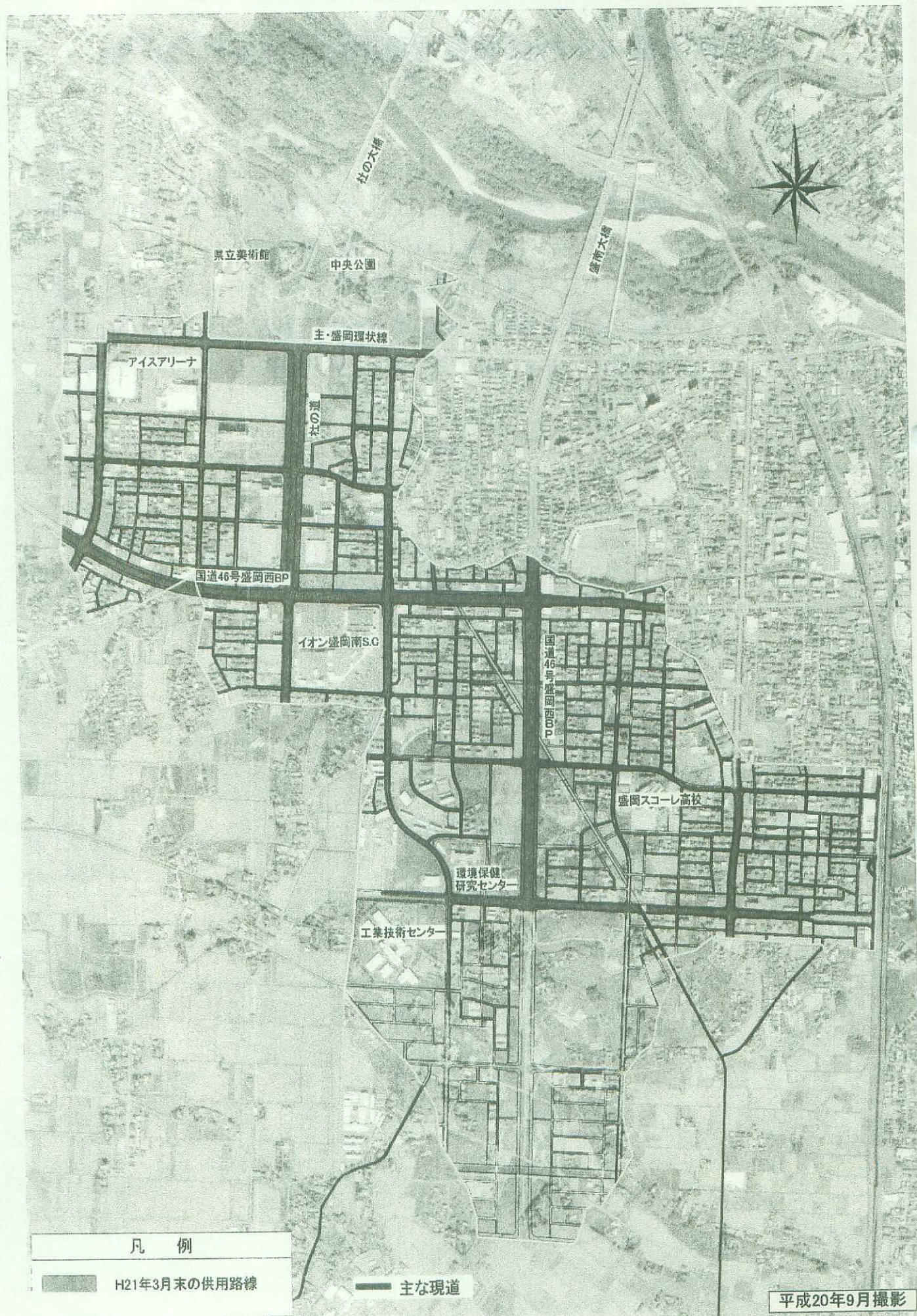
## 盛岡南新都市土地区画整理事業の着実な整備促進 について

盛岡南新都市土地区画整理事業が着実に進展しておりますことは、国土交通省御当局の御配慮によるものと深く感謝いたしております。

本事業は、県都として、さらには北東北の交流拠点都市を目指す本市にとりまして、新たな都市機能の拡充を図り、地域の振興発展と住民福祉の一層の向上を推進する上で、極めて重要な事業でありますことから、着実な事業促進について要望いたします。



# 盛岡南新都市土地区画整理事業の整備促進要望図



平成20年9月撮影



## 盛岡市公共下水道事業費等の確保及び県施行 流域下水道事業の整備促進について

北上川上流に位置している盛岡市は、流域市町村が北上川水系を上水道源としているため、水質保全については特に重要な役割を担っており、地域における生活環境の改善や浸水区域の解消を推進するためにも、公共下水道の整備が急務となっております。

本市では、単独公共下水道（中川原処理区）及び北上川上流流域関連公共下水道（都南処理区）の整備促進と処理区域等の拡大に努め、平成 20 年度末の公共下水道人口普及率は 85.7 パーセントとなっております。

しかしながら、流域下水道玉山幹線は、平成 21 年度末の完成を目指し工事を進めていただいているものの、未供用区域解消のためには、流域下水道手代森幹線及び流域関連公共下水道へ移行するために必要な都南幹線の早期整備が強く望まれております。

また、公共下水道未整備地区からの要望も多く、早急に整備を進める必要がありますが、近年の地方財政は一段と厳しい状況にあり、さらには、耐用年数を超過している下水道施設もあるなど、耐震化も考慮した改築等の必要性が高まっている状況から、国からの支援をお願いしていかなくてはならない現状にあります。

平成 20 年度におきましては、補助対象範囲の拡大など特段の措置が講じられたとともに、下水道長寿命化支援制度が創設され、さらには、平成 21 年度には下水道総合地震対策事業が創設されたところでありますが、引き続き盛岡市公共下水道事業費の確保のほか、岩手県が進める流域下水道事業の整備促進について要望いたします。



## 盛岡市内の直轄管理河川北上川水系治水事業 の促進について

盛岡市内の直轄管理河川（北上川、<sup>きたかみがわ</sup>中津川及び<sup>なかつがわ</sup>雫石川<sup>しずくいしがわ</sup>）は着実に整備が進められ、その中でも北上川と中津川におきましては、平成19年9月に発生した洪水に伴う災害復旧費による迅速な対応や市街地に配慮した快適でうるおいのある河川環境の創出や災害復旧など、積極的に取り組んでいただき深く感謝いたしております。

しかしながら、北上川、中津川及び雫石川の3河川は、一部未改修の状態にあるため、降雨期の増水による河岸決壊や無堤箇所<sup>しほ</sup>の浸水が懸念されるほか、近年は“ゲリラ豪雨”も頻発するなど流域住民に大きな不安を与えております。

つきましては、「災害に対し安全で安心な都市づくり」のため、治水事業費の確保及び河川改修事業の促進、また、平成14年7月及び平成19年9月の洪水により浸水被害が生じた箇所において、浸水被害の早期解消を図るとともに、「岩脇地区」「南仙北地区」「手代森地区」などの未改修箇所の早期着手について要望いたします。

また、明治橋から<sup>しわ</sup>紫波橋間に洪水時の避難勧告や自主避難の目安として重要となる水位観測施設の設置と、地域との連携・協働による維持管理の推進について、御配慮いただきたく要望いたします。



# 河川改修要望箇所

## 北上川 岩脇地区



## 栗石川 右岸合流部



## 北上川 南仙北地区



## 北上川 手代森地区





## 岩手県管理河川改修事業の促進について

盛岡市の市街地を貫流する岩手県管理河川には、未改修区間が多く、特に一級河川木賊川とくさがわと南川みなみかわの県施行区間は、その大部分が未改修であり、毎年、降雨期には河岸決壊や浸水が懸念され、平成19年9月の秋雨前線による大雨では、日降水量と最大24時間降水量が観測史上最大値を記録し、木賊川では避難勧告が発令されるなど、沿川住民に大きな不安を与えている状況にあります。

また、盛岡市南部では急速な都市化の進行により、南川の整備が急務となっております。

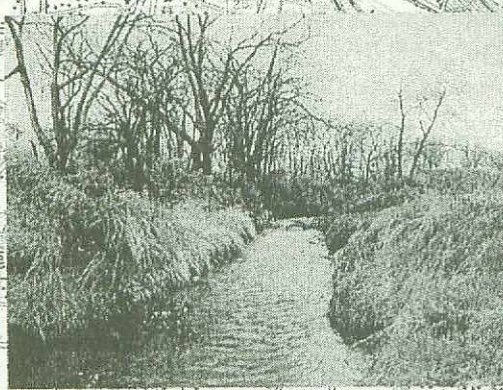
つきましては、岩手県が施行する木賊川の基幹河川改修事業及び南川の総合流域防災事業が促進されますよう、財源確保について要望いたします。



# 岩手県管理河川改修事業



木賊川 分水路・遊水池・河川改修  
(北上川合流点～滝沢村境)



南川 築堤護岸  
(北上川合流点～国道4号)



## 都市基盤河川改修事業に係る国庫補助金の確保について

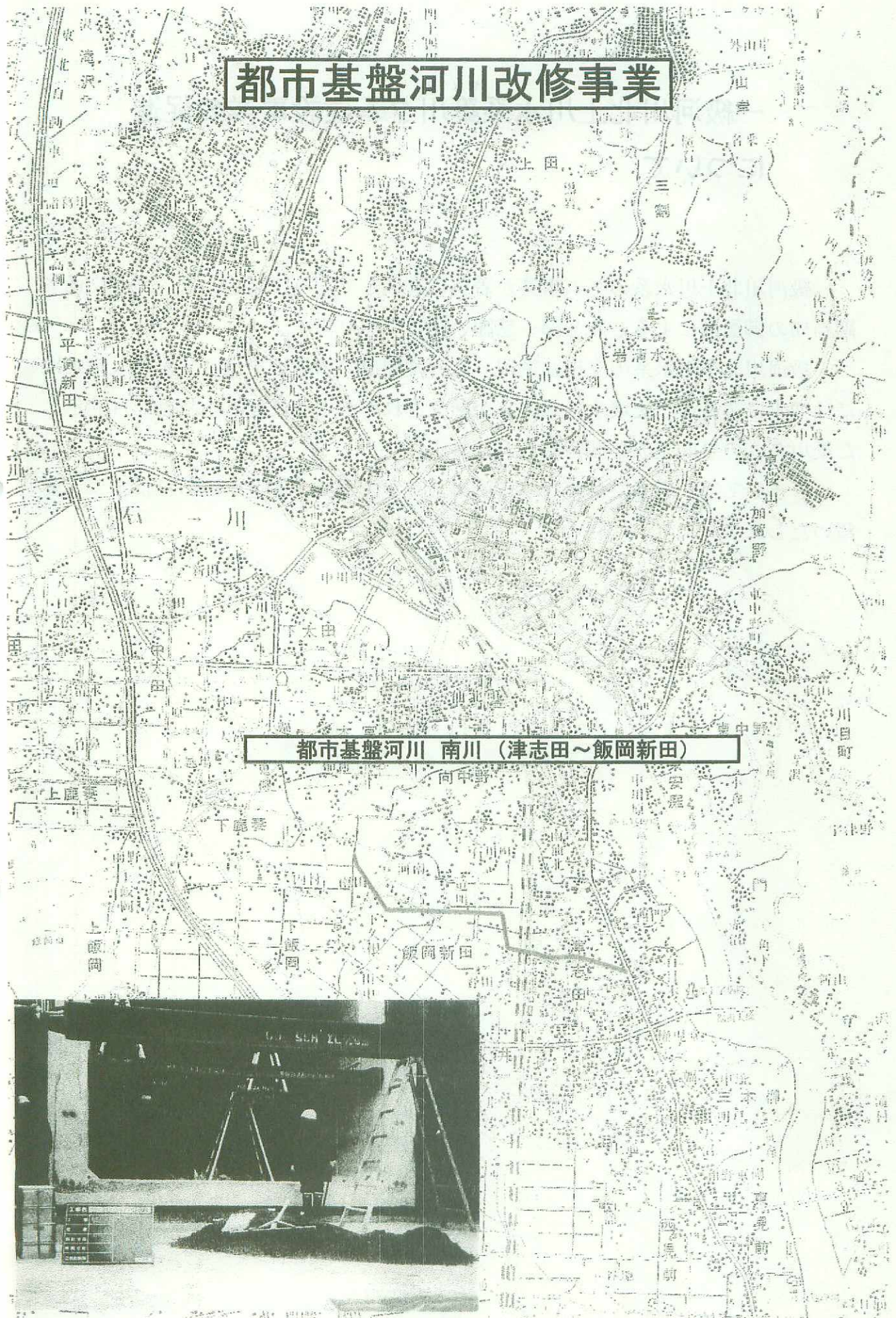
盛岡市内を貫流する一級河川北上川水系南川<sup>みなみかわ</sup>は、毎年、降雨期には洪水による浸水被害が懸念されており、沿川住民の不安を解消するため、早期の河川改修が強く要望されております。

また、当河川は、盛岡南新都市土地区画整理事業の進展に伴い、雨水の流出量が増加し、整備が急務となっております。

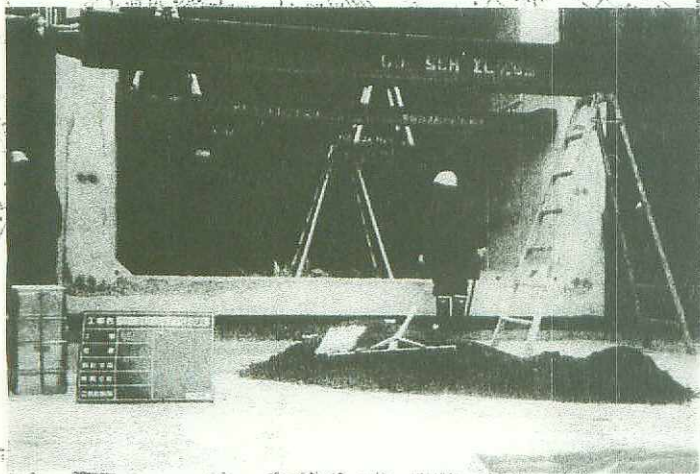
つきましては、都市基盤河川改修事業として整備の促進が図られますよう国庫補助金の確保について要望いたします。



# 都市基盤河川改修事業



## 都市基盤河川 南川 (津志田~飯岡新田)





# 一級河川北上川水系やながわ築川ダム建設事業の促進 について

一級河川北上川水系のダム事業が着実に進展しておりますことは、国土交通省御当局の御配慮によるものと深く感謝いたしております。

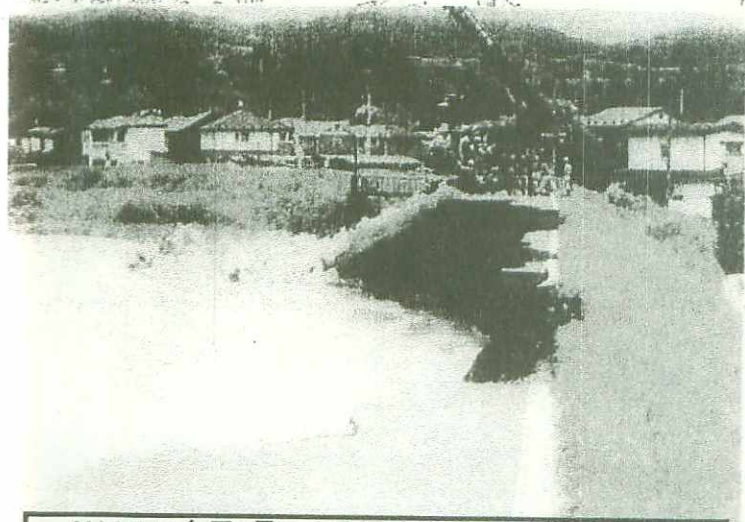
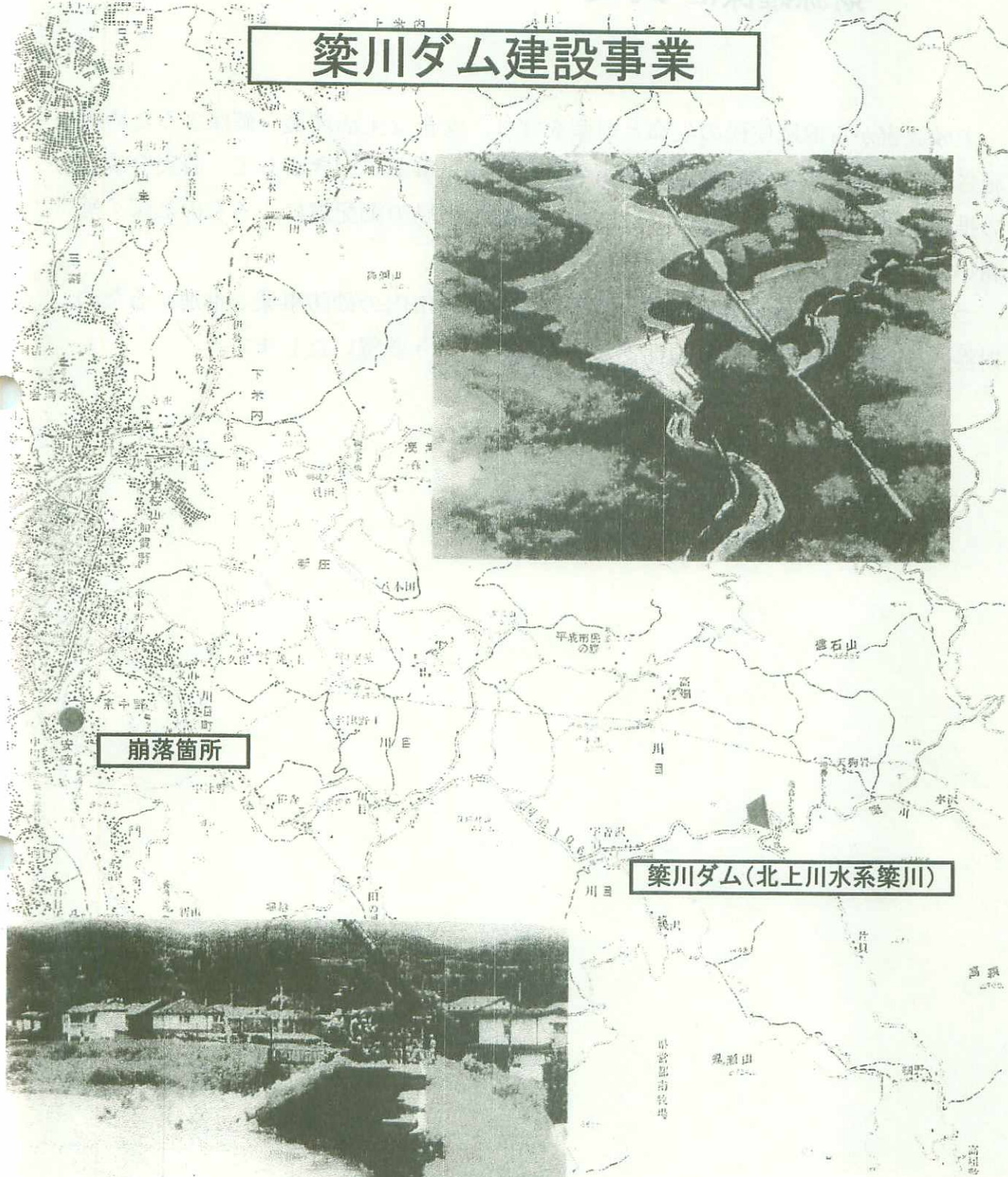
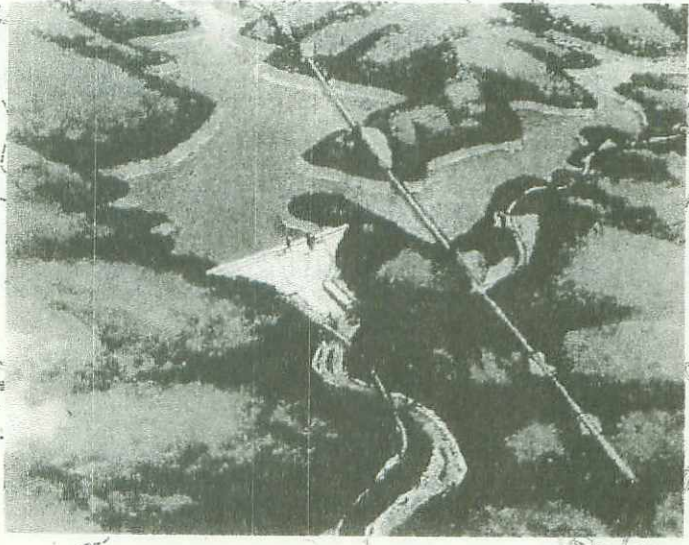
一級河川北上川水系の支川「築川」は、盛岡市の市街地を流れており、降雨期には増水による河岸決壊や浸水被害が懸念され、沿川住民は洪水防御を目的とした築川ダムの早期完成を期待しております。

つきましては、岩手県が施行する築川ダム建設事業の促進が図られますよう要望いたします。



意前此建設事業及びその影響  
 建設省建設省建設省建設省

# 築川ダム建設事業



H14.7.11台風6号による堤防崩落現場(応急処置)



## 急傾斜地崩壊対策事業及び砂防事業の 財源確保について

土砂災害から地域住民の生命と財産を守り、安全な生活環境を確保するため実施されております急傾斜地崩壊対策事業及び砂防事業につきまして、着実な事業の推進が図られておりますのも、国土交通省御当局の御配慮によるものと深く感謝いたしております。

つきましては、急傾斜地崩壊対策事業及び盛岡市内の砂防事業を推進するため、財源を確保し、岩手県事業の促進が図られますよう要望いたします。



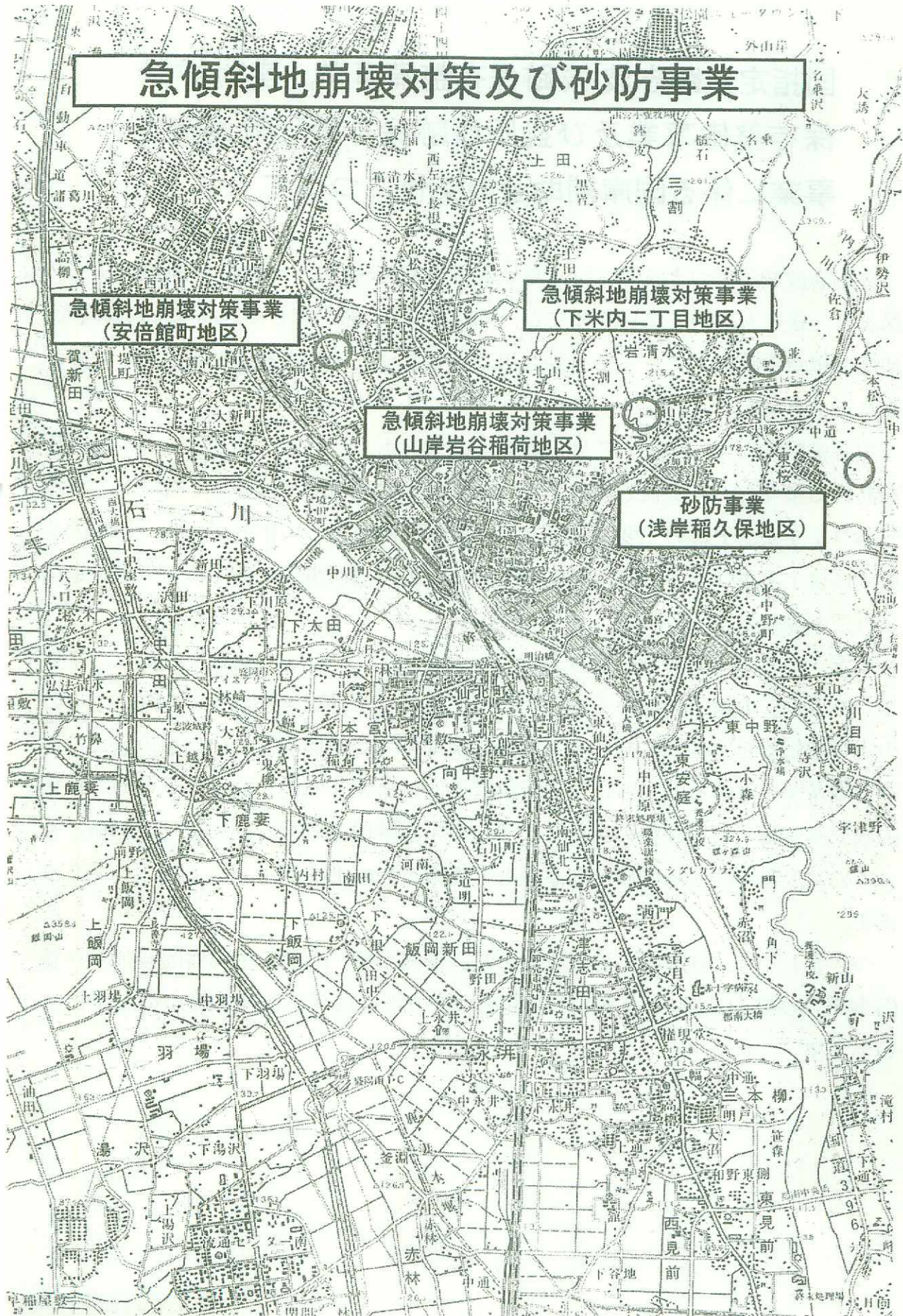
# 急傾斜地崩壊対策及び砂防事業

急傾斜地崩壊対策事業  
(安倍館町地区)

急傾斜地崩壊対策事業  
(下米内二丁目地区)

急傾斜地崩壊対策事業  
(山岸岩谷稻荷地区)

砂防事業  
(浅岸稻久保地区)





し わ じ ょ う あ と も り お か じ ょ う あ と

## 国指定史跡志波城跡保存整備事業，盛岡城跡 保存整備事業及び盛岡城跡保存管理計画策定 事業に係る国庫補助金の交付について

史跡志波城跡につきましては、用地取得事業を継続し、地権者の補償と史跡の保護に今後とも努めてまいります。平成9年に開園しました志波城古代公園を、地域の拠点史跡としてさらに有効活用できるよう史跡整備を推進することが切望されております。

史跡盛岡城跡につきましては、盛岡市のシンボルとして、市民はもとより本市を訪れる多くの人々に親しまれており、その保存整備に鋭意努力しているところでありますが、史跡の主要部分である石垣の損傷が著しい部分があり、抜本的な解体修復工事が必要とされ、昭和59年度から国庫補助事業として修理工事が進められております。

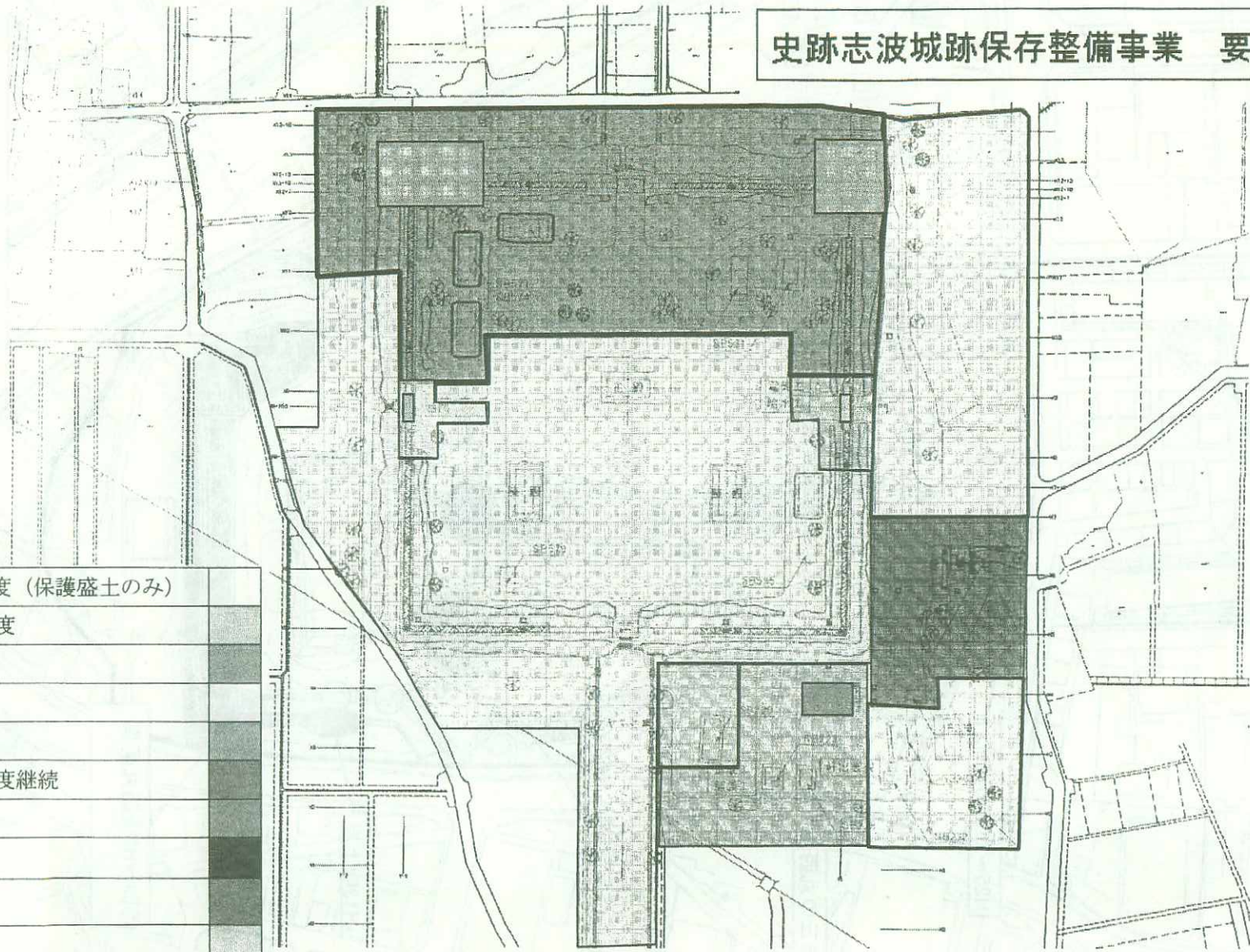
また、中心市街地の活性化を促すことを目的として、「お城を中心としたまちづくり計画」の策定を進めているところであり、本計画を進めるにあたり、史跡の本質的価値を明確にしながら、史跡盛岡城跡の歴史環境保全のための適正な保存管理基準を定めるとともに、史跡指定地内に所在する商店街のあり方や、将来的な公園整備・石垣修復の指針とするための史跡保存管理計画の策定が急務となっており、本年度から国庫補助事業として事業の推進を図っているところであります。

つきましては、国指定史跡志波城跡保存整備事業、国指定史跡盛岡城跡保存整備事業及び盛岡城跡保存管理計画策定事業の推進に係る国庫補助金の交付について要望いたします。



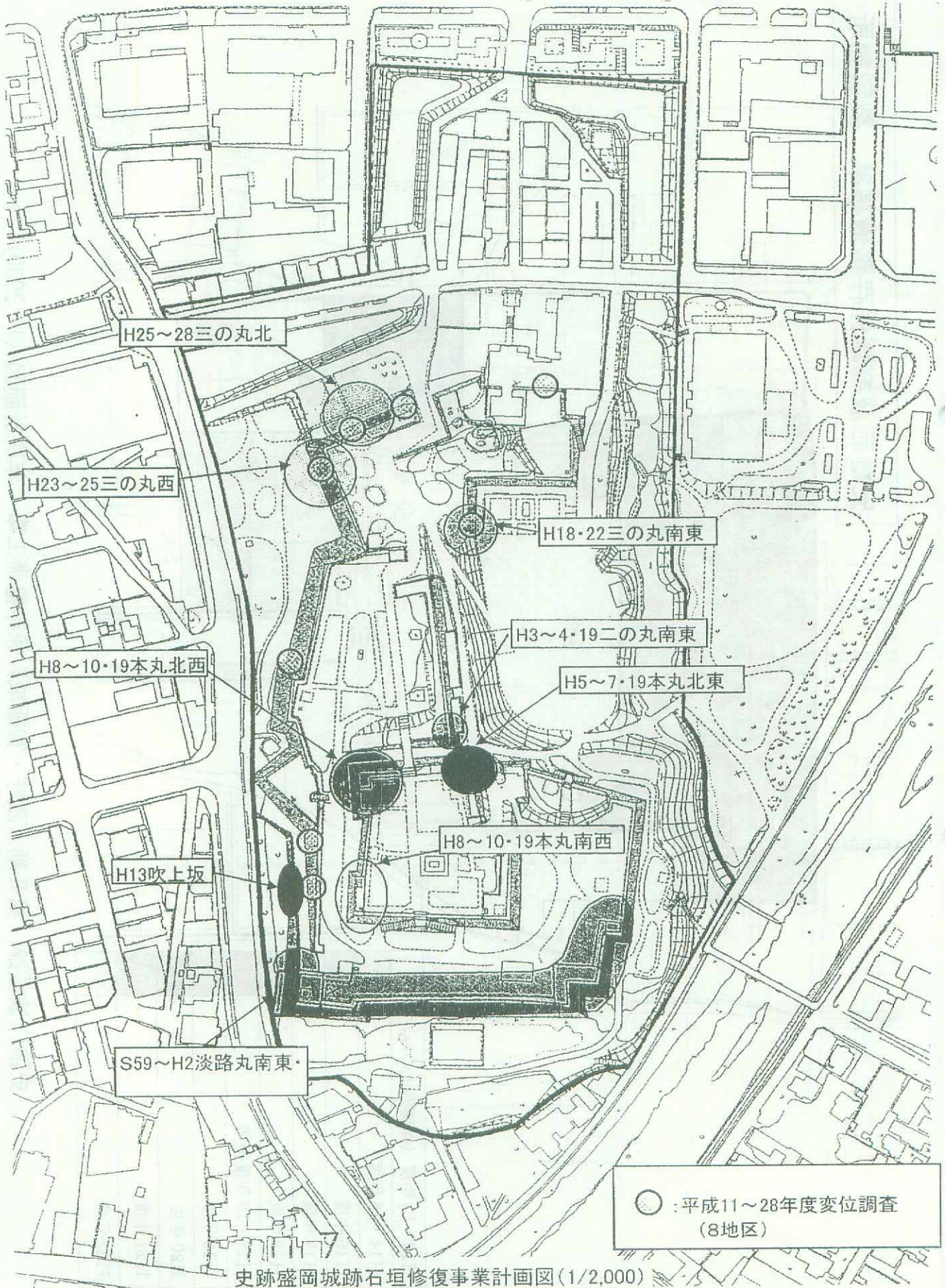
史跡志波城跡保存整備事業 要望箇所

H12・13年度 (保護盛土のみ)	
H14・15年度	
H16年度	
H17年度	
H18年度	
H18・19年度継続	
H19年度	
H20年度	
H21年度	
H22年度	



史跡志波城跡 第Ⅱ期 (政庁・官衙域) 保存整備工事 年次計画図 (1:2000)







# 県予算に対する統一要望事項



## 一般国道 106 号「<sup>となんかわめ</sup>都南川目道路」の整備促進 について

一般国道 106 号は、太平洋沿岸の重要港湾都市宮古市を起点として、県都盛岡市に至る延長約 93 km の路線であり、さらには一般国道 46 号と連結し、日本海沿岸の主要都市秋田市を結ぶ県央部横軸大動脈として、岩手・秋田両県の産業・経済・文化の交流、観光開発等において大きな役割を担う極めて重要な路線であります。

また、東北縦貫自動車道及び東北新幹線による中央と東北を結ぶ縦の高速交通軸の効果を北東北全域に波及させ、国土の均衡ある発展に重要な役割を担うことが大きく期待されている路線でもあります。

今般、直轄事業の事業再評価の結果、一般国道 106 号「都南川目道路」の整備事業について、費用便益比が 1 以下となったことから、平成 21 年度予算の執行を当面見合わせるとの方針が公表されたところですが、広大な面積を有する岩手県において、医療、災害、雪、コミュニティ等地域ごとに異なる道路の持つ多様な効果を評価していただき、特に「都南川目道路」については、宮古～盛岡～秋田地域集積圏相互の連携強化の重要性を考慮し、早急な事業凍結解除と整備促進が図られますよう国に働きかけていただきたく要望いたします。



## 一般国道 106 号の直轄指定区間編入について

一般国道 106 号は、太平洋沿岸の重要港湾都市宮古市を起点として、県都盛岡市に至る延長約 93 km の路線であり、さらには一般国道 46 号と連結し、日本海沿岸の主要都市秋田市を結ぶ県央部横軸大動脈として、岩手・秋田両県の産業・経済・文化の交流、観光開発等において大きな役割を担う極めて重要な路線であります。

また、東北縦貫自動車道及び東北新幹線による中央と東北を結ぶ縦の高速交通軸の効果を北東北全域に波及させ、国土の均衡ある発展に寄与する重要路線でもあります。

しかしながら、本路線は北上高地を越え、蛇行する溪流に沿って曲折した道路であり、また、冬期間においては、積雪、凍結による交通障害が地域経済の発展を妨げる大きな要因ともなっております。

このような状況から、平成 6 年 12 月に地域高規格道路として指定を受け、一部区間については、「都南川目道路<sup>となんかわめ</sup>」として直轄権限代行により整備に着手されているほか、「宮古盛岡横断道路築川道路<sup>やながわ</sup>」につきましても整備が大きく進展しており、東北の骨格道路としての位置付けが一層明確になっているところです。

つきましては、災害時や冬期間の道路交通の確保を一段と確かなものとし、北東北地域の産業・経済・文化の交流、観光開発等を一層促進するため、一般国道 106 号を一般国道 46 号に路線名を変更し、一体的に国が管理されますよう国に働きかけていただきたく要望いたします。



## 道路局所管盛岡市道路整備事業の推進について

盛岡市は県都として、また、北東北の交流拠点都市を目指し、行政、経済、教育・文化、医療等の高次の都市機能を備えたまちづくりとともに、これらの都市機能を支える基盤の整備に鋭意努めているところであります。

しかしながら、慢性的な交通渋滞の解消や歩行者の安全確保を図るためには、道路整備の実情は未だ十分とはいえない状況にあり、広域連携等の促進を図るための道路整備をはじめとして、交通安全施設の整備が急務となっております。

つきましては、道路局所管盛岡市道路整備事業の着実な推進について御配慮いただきたく要望いたします。

区 分	路 線 名	工 種
継 続	<small>きたまつぞの</small> 北松園四丁目 <small>ことりざわ</small> 小鳥沢線	道路改築
継 続	<small>くりやがわ</small> 厨川駅地下自由通路	〃
継 続	新幹線側道2号線ほか	〃
新 規	<small>いわていいおか</small> 岩手飯岡駅南公園線	〃
新 規	<small>しもだおいで</small> 下田生出線	〃
新 規	<small>つしだしらさわ</small> 津志田白沢線	〃



## 都市・地域整備局所管盛岡市街路事業の推進 について

盛岡市は県都として、また、北東北の交流拠点都市を目指し、現都心から盛岡南新都心地区に至る軸状都心の計画的な形成を図りながら、行政、経済、教育・文化、医療等の高次の都市機能を備えたまちづくりとともに、これらの都市機能を支える基盤の整備に鋭意努力しているところであります。

しかしながら、既成市街地は、城下町特有である道路整備率の低さのため多車線道路が少なく、バス等の公共輸送機関の有効活用が図られない状況となっており、さらに、新市街地の形成や隣接町村への市街地の拡大等により交通需要は増加の傾向をたどり、既成市街地の主要道路や中心市街地へ連絡する幹線道路等は、恒常的な交通混雑を引き起こし、円滑な都市活動や安全な交通の確保等が著しく阻害されており、街路の整備が急務となっております。

つきましては、次の街路事業の着実な推進について御配慮いただきたく要望いたします。

区 分	路 線 名	要 望 地 区	事 業 名
継 続	<small>なしのきちょうかみよない</small> 梨木町上米内線	<small>なしのき</small> 梨木地区	街路事業
継 続	<small>もりおかえきみなみおおほし</small> 盛岡駅南大橋線	<small>みこだ</small> 神子田地区、 <small>おおさかわら</small> 大沢川原地区	〃
継 続	<small>めいじばしおおさかわら</small> 明治橋大沢川原線	<small>おおどおり</small> 大通地区	〃



## 盛岡市内の県道の整備促進について

盛岡市は、現都心から盛岡南新都心地区に至る軸状都心の計画的な形成を図りながら、行政、経済、教育・文化、医療などの高次の都市機能を備えたまちづくりを進めるとともに、これらの都市機能を支える基盤施設の効率的な整備に鋭意努力しているところであります。

この中で、新市街地の形成や周辺町村の市街地拡大に伴う本市への交通需要の増加等により、随所で恒常的な交通混雑が発生するなど、市民生活はもとより経済活動にも影響を及ぼしており、円滑な交通の確保を図るため、幹線道路の整備が急務となっております。

特に、自動車交通の増加に伴う幹線道路の整備は、地域づくりや広域経済にもたらす波及効果が大きく、関係住民の期待も大きいところであります。

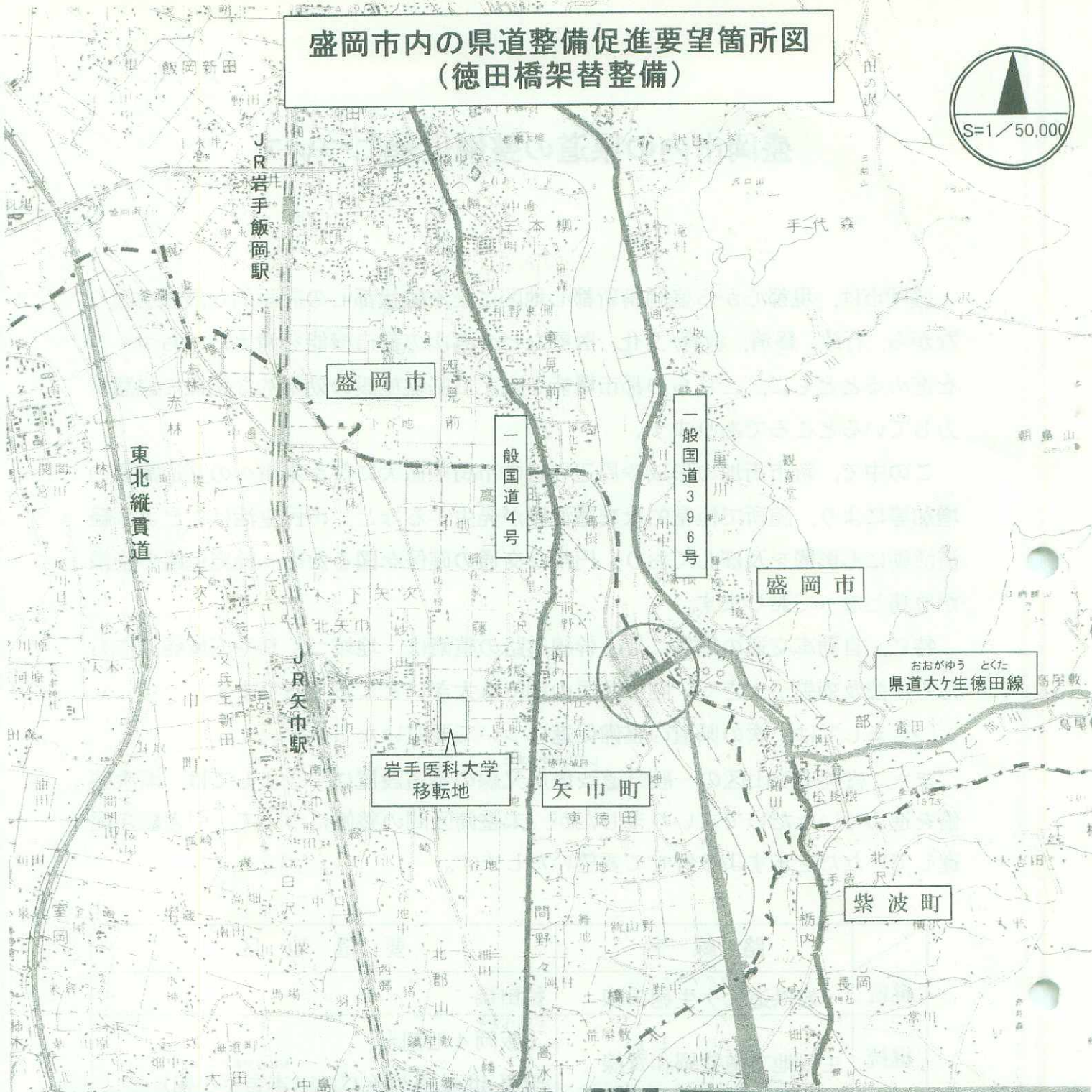
つきましては、次の県道の整備促進について要望いたします。

また、盛岡市玉山区の一般県道<sup>しぶたみかわまた</sup>渋民川又線の歩道設置につきましては、漸次整備を進めていただいてまいりましたが、未整備区間の整備について、引き続き促進していただきますよう併せて要望いたします。

	路線名	要望地区
継続	一般県道 <sup>おおがゆうとくた</sup> 大ヶ生徳田線	徳田橋
継続	主要地方道 <sup>わが</sup> 盛岡和賀線	下飯岡 <sup>しもいおか</sup> 4地割～ 国道46号西バイパス（本宮字 <sup>もとみやあざこはば</sup> 小幅）
継続	都市計画道路 向中野 <sup>むかいなかのあべたて</sup> 安倍館線	仙北 <sup>せんぼく</sup> 一丁目 前九年 <sup>ぜんくねん</sup> 二丁目から上堂 <sup>かみどう</sup> 一丁目地区
継続	都市計画道路盛岡駅 長田町 <sup>ながたちょう</sup> 線	長田町地区
継続	一般県道 <sup>しぶたみかわまた</sup> 渋民川又線	玉山区 <sup>もんぜんじ</sup> 字門前寺地区、 <sup>たかこう</sup> 字鷹高地区
継続	一般県道 <sup>おおぶけこうま</sup> 大更好摩線・ 好摩 <sup>こうまていしゃじょう</sup> 停車場線	玉山区好摩地区

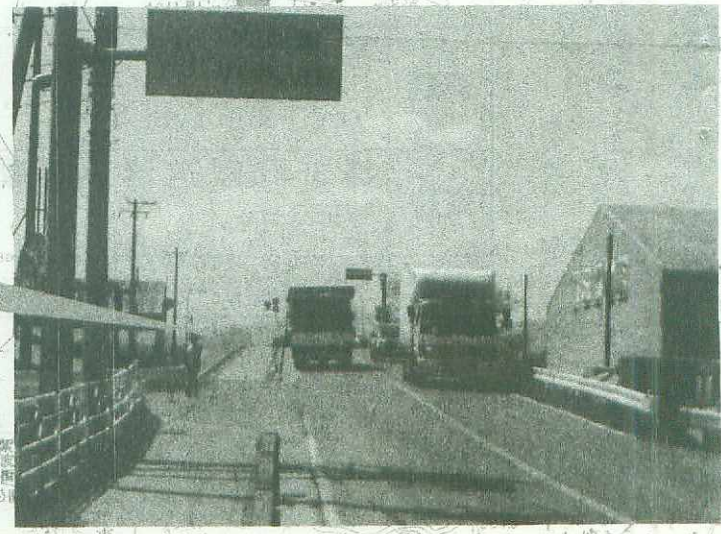
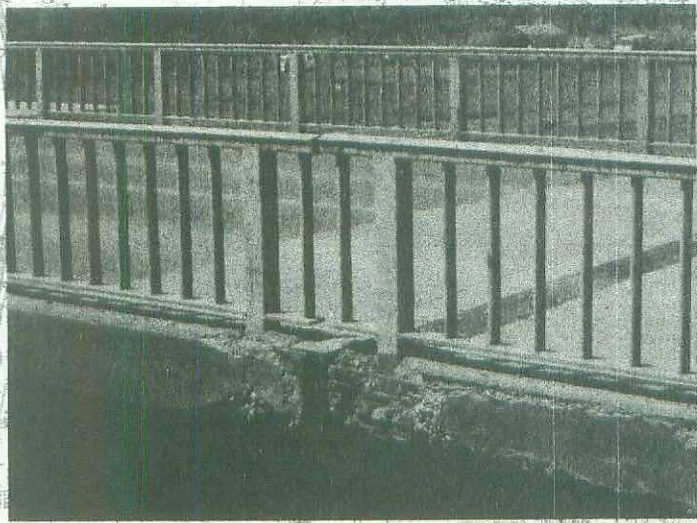


# 盛岡市内の県道整備促進要望箇所図 (徳田橋架替整備)



おおがゆう とくた  
県道大ヶ生徳田線

岩手医科大学  
移転地





# 盛岡市内の県道整備促進要望箇所図 (主要地方道盛岡和賀線)



国道46号

国道46号盛岡西バイパス

盛岡和賀線

盛岡駅

岩手県民情報  
交流センター  
(アイーナ)

東北縦貫道

国道46号盛岡西バイパス

整備要望区間  
L=1.8km

主要地方道盛岡和賀線

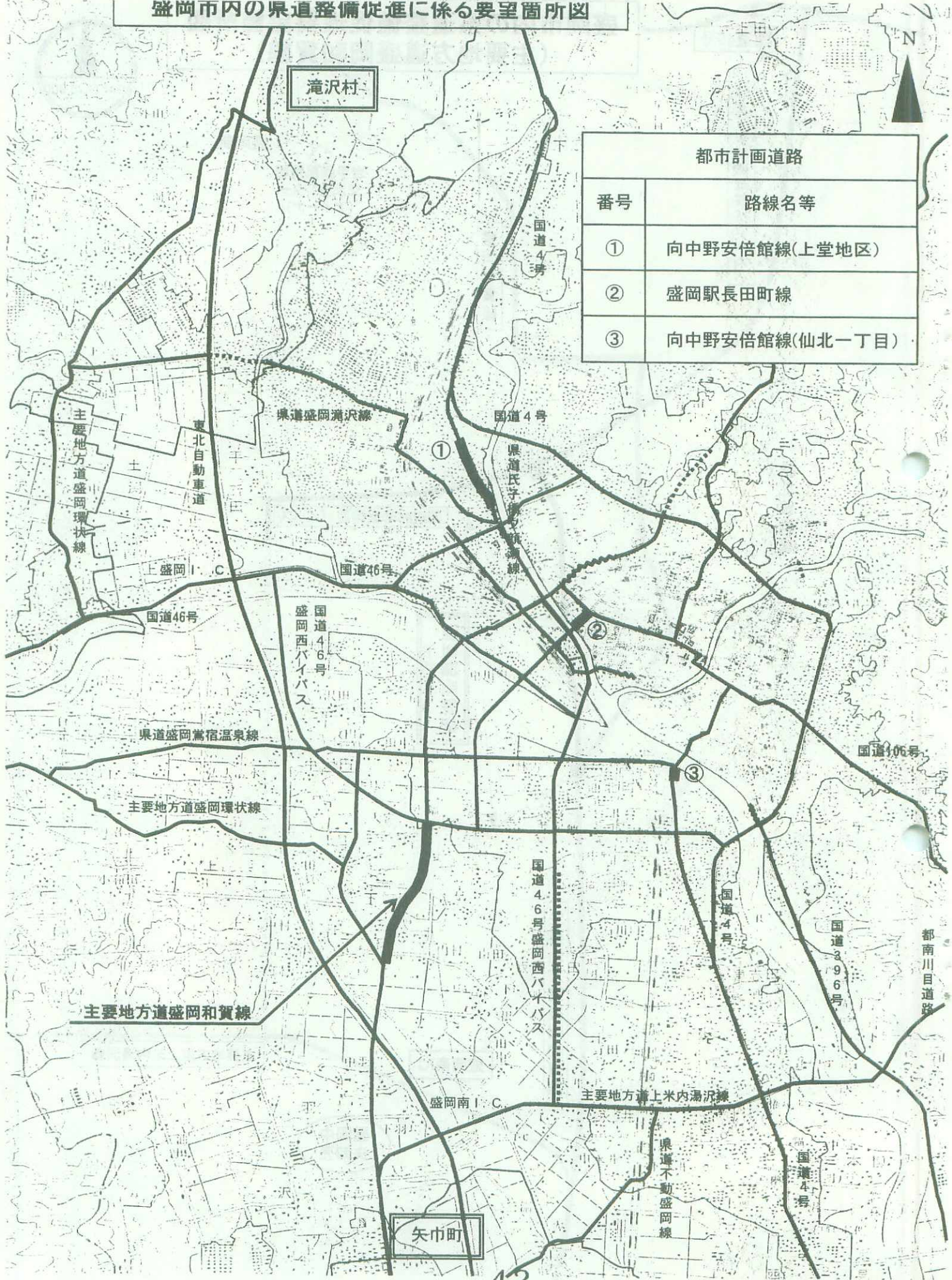
盛岡南IC

主要地方道上米内湯沢線

盛岡中央卸売

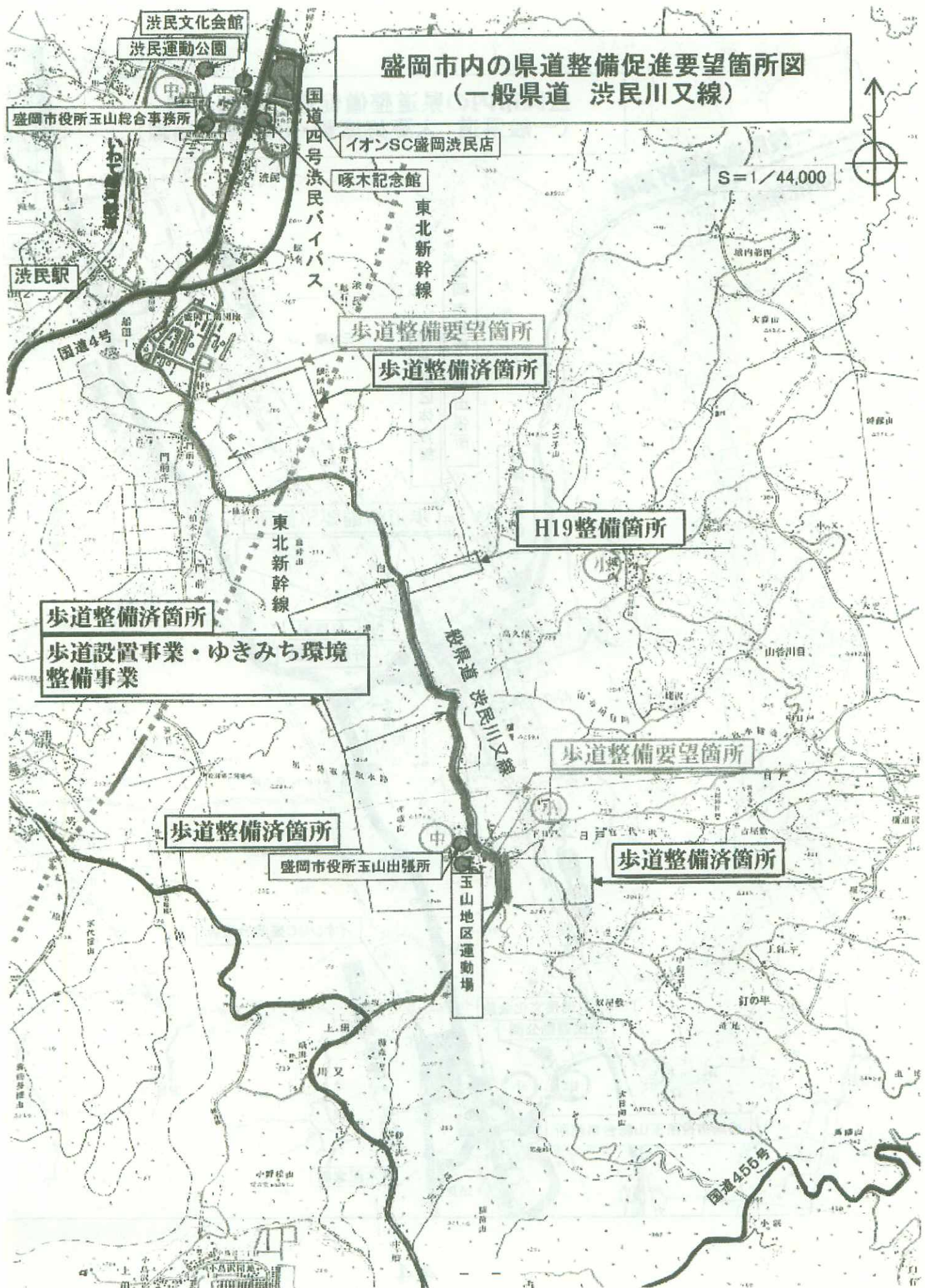


盛岡市内の県道整備促進に係る要望箇所図



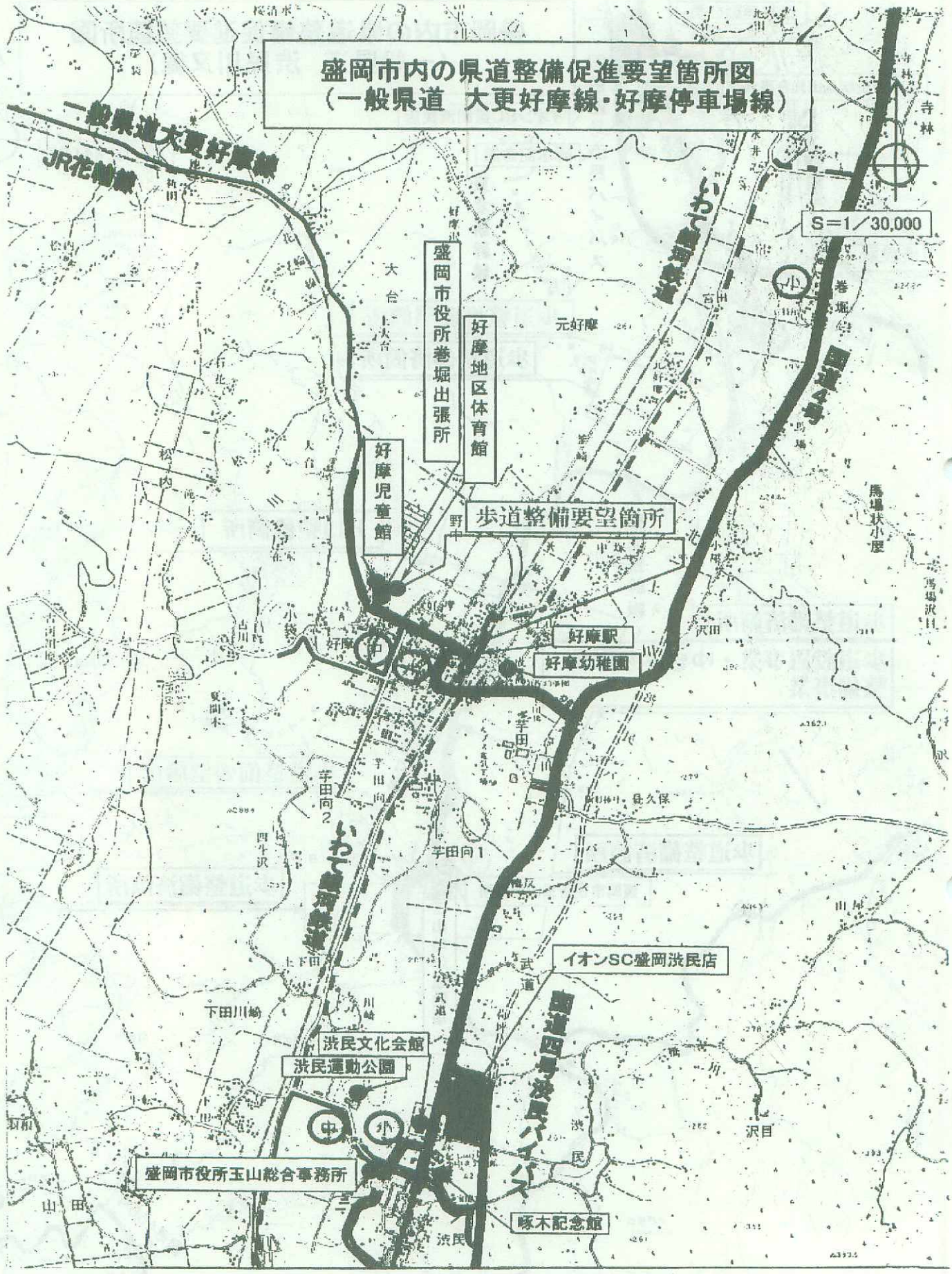
都市計画道路	
番号	路線名等
①	向中野安倍館線(上堂地区)
②	盛岡駅長田町線
③	向中野安倍館線(仙北一丁目)







盛岡市内の県道整備促進要望箇所図  
 (一般県道 大更好摩線・好摩停車場線)





## 一般国道 46号「盛岡西バイパス」の整備促進 について

一般国道 46 号「盛岡西バイパス」は、都市再生機構が施行する盛岡南新都市土地区画整理事業にとりまして極めて重要な路線であり、本事業の促進に大きく寄与しますとともに、本市が目指す北東北の交流拠点都市の形成にとりましても大きな前進となるものであり、着実な整備推進が図られておりますのも岩手県御当局の御配慮によるものと深く感謝いたします。

盛岡西バイパスは、一般国道 106 号「都南川目道路」と連動する路線として、秋田～盛岡～宮古を結ぶ地域連携軸の形成や関係市町村との交流拠点となる本都市圏の交通確保等のため、また、地域高規格道路としての機能確保を図ることからも必要不可欠な路線となっております。

つきましては、一般国道 46 号「盛岡西バイパス」の整備促進を国に働きかけていただきたく要望いたします。



## 盛岡南新都市土地区画整理事業の着実な整備促進 について

盛岡南新都市土地区画整理事業が着実に進展しておりますことは、岩手県御当局の御支援、御指導によるものと深く感謝いたしております。

本事業は、県都として、さらには北東北の交流拠点都市を目指す本市にとりまして、新たな都市機能の拡充を図り、地域の振興発展と住民福祉の一層の向上を推進する上で、極めて重要な事業でありますことから、着実な事業促進について要望いたします。



## 盛岡市公共下水道事業費等の確保及び流域下水道事業の整備促進について

北上川上流に位置している盛岡市は、流域市町村が北上川水系を上水道源としているため、水質保全については特に重要な役割を担っており、地域における生活環境の改善及び浸水区域の解消を推進するためにも、公共下水道の整備が急務となっております。

本市では、単独公共下水道（中川原処理区）及び北上川上流流域関連公共下水道（都南処理区）の整備促進と処理区域等の拡大に努め、平成 20 年度末の公共下水道人口普及率は 85.7 パーセントとなっております。

しかしながら、流域下水道玉山幹線は、平成 21 年度末の完成を目指し工事を進めていただいているものの、未供用区域解消のためには、流域下水道手代森幹線及び流域関連公共下水道へ移行するために必要な都南幹線の早期整備が強く望まれております。

また、公共下水道未整備地区からの要望も多く、早急に整備を進める必要がありますが、近年の地方財政は一段と厳しい状況にあり、さらには、耐用年数を超過している下水道施設もあるなど、耐震化も考慮した改築等の必要性が高まっている状況から、国からの支援をお願いしていかなくてはならない現状にあります。

つきましては、盛岡市公共下水道事業費の確保のほか、流域下水道事業の整備促進について要望いたします。



## 岩手県管理河川改修事業の促進について

盛岡市の市街地を貫流している岩手県管理河川につきましては、岩手県御当局の御尽力により継続的な河川整備が推進されており、また、大雨や台風などの被害に対し速やかに復旧工事を実施していただき、深く感謝いたしております。

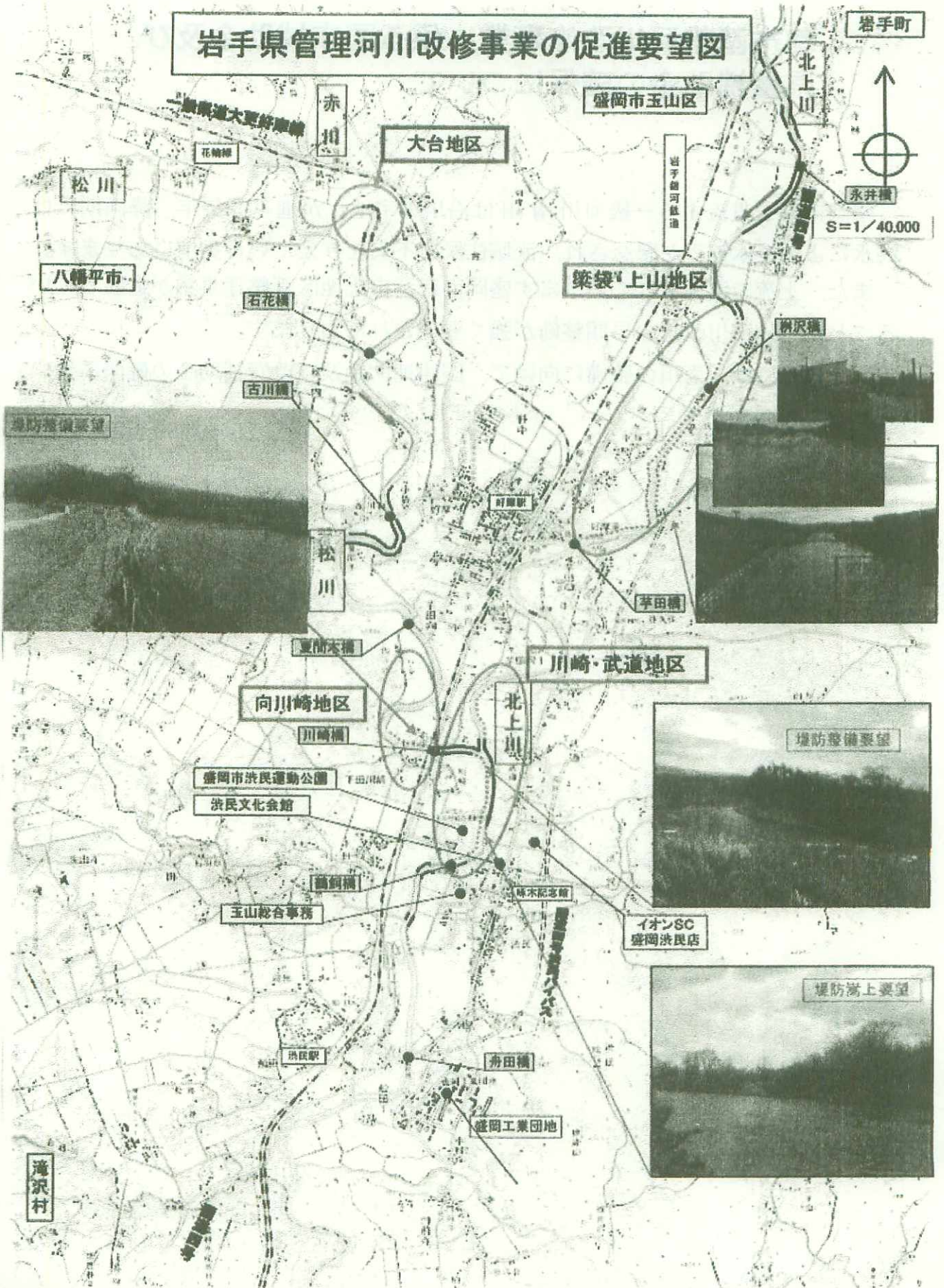
しかしながら、市内の県管理河川には未改修が多く、特に木賊川とくさがわと南川みなみかわは、その大部分が未改修の状態にあるため、毎年の降雨期の河岸決壊や洪水時の浸水被害が懸念され、流域住民に大きな不安を与えている状況にあります。

また、盛岡市玉山区の一級河川北上川の「川崎・武道地区」及び「築袋・上山地区」並びに一級河川松川まつかわでは「向川崎地区」及び「大台地区」につきましても同様の状況下にあります。

つきましては、住民の安全な暮らしを守るため、これらの河川における河川改修事業の促進について要望いたします。



# 岩手県管理河川改修事業の促進要望図





## 都市基盤河川改修事業に係る国庫補助金及び 県費補助金の確保について

盛岡市内を貫流する一級河川南川<sup>みなみかわ</sup>は沿川の宅地化が進み、毎年、降雨期には洪水による浸水被害が懸念され、流域住民に不安を与えている実情にあります。

また、上流で実施されております盛岡南新都市土地区画整理事業が進展していることから、河川改修の早期整備が強く要望されております。

つきましては、南川の整備に向けて、国庫補助金及び県費補助金の確保について要望いたします。



## 築川ダム建設事業の促進について

築川ダム建設事業が着実に進展しておりますことは、岩手県御当局の御尽力によるものと深く感謝いたしております。

一級河川北上川水系の「築川」は、降雨期には増水による河岸決壊や浸水被害が懸念され、地域住民におきましては、洪水防御を目的とした築川ダム建設事業の早期完成を期待しております。

つきましては、築川ダム建設事業の促進について要望いたします。



## 急傾斜地崩壊対策事業及び砂防事業の 促進について

がけ崩れを含めた土砂災害から地域住民の生命と財産を守り、安全な生活環境を確保するため、急傾斜地崩壊対策事業及び砂防事業が着実に実施されておりますことは、岩手県御当局の御配慮によるものと深く感謝いたしております。

つきましては、急傾斜地崩壊対策事業の「安倍館<sup>あべたて</sup>地区」、「山岸<sup>やまぎし</sup>地区」の新規事業採択及び「下米内<sup>しもよないにちょうめ</sup>二丁目地区」の促進並びに「浅岸<sup>あさぎし</sup>地区」の砂防事業の新規事業採択について要望いたします。



## 2巡目岩手国体主会場の誘致等について

岩手県におかれましては、平成28年に開催予定の第71回国民体育大会に向け、鋭意準備を進められているところと存じます。

さて、先に盛岡市は、岩手県営運動公園陸上競技場を第1種公認陸上競技場として、またJリーグサッカー、ラグビーフットボール等の国際大会も開催できる施設として整備し、併せて同競技場で2巡目岩手国体の総合開会式及び閉会式並びに陸上競技を開催されるよう、要望してきたところであります。

さらに、広域8市町村議会や盛岡の市民団体からも同様の要望が提出されているところであります。

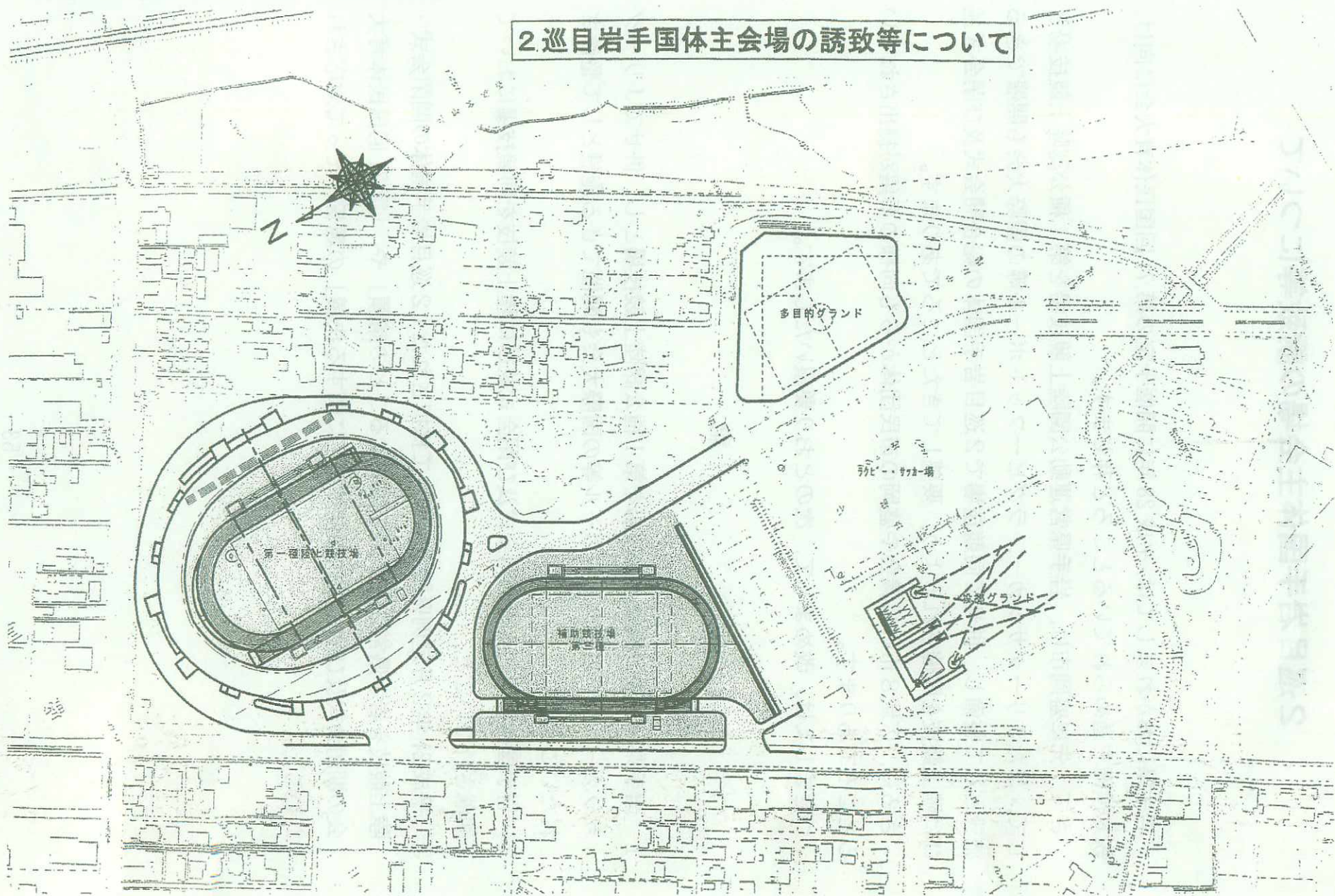
つきましては、改めまして、次のとおり要望いたします。

### 記

- 1 岩手県営運動公園陸上競技場を第1種公認陸上競技場とし、併せてJリーグサッカー、ラグビーフットボール等の国際大会も開催できる施設として整備されたいこと。
- 2 岩手国体における総合開会式及び閉会式並びに陸上競技を同競技場において開催されたいこと。
- 3 平成21年2月定例県議会において採択された「2巡目岩手国体の開閉会式・陸上競技を岩手県営運動公園で開催することの請願」や、「第71回国民体育大会の開閉会式及び陸上競技開催地選定に関する決議」の趣旨にそって対応されたいこと。



2 巡目岩手国体主会場の誘致等について





# 平成21年度 国・県予算要望成果

(平成21年5月27日現在)



## 平成 21 年度国予算要望成果

注：件名欄に（国、県）とあるのは、国及び県の両方に要望した項目です。

No.	件 名	要望成果		
1	必要な道路整備の促進と財源の確保について ※平成 22 年度要望なし	平成 21 年度予算において、道路特定財源制度が廃止され、地方道路整備臨時交付金も廃止となったが、これに代わるものとして、「地域活力基盤創造交付金」が創設された。		
2	一般国道 106 号「都南川目道路」の整備促進について (国、県)	「都南川目道路」は、築川道路から（仮称）田の沢 I C までの区間について、平成 17 年度から用地補償、平成 18 年度から工事に着手している。 平成 20 年度は、用地補償と工事を実施し、平成 20 年度末の事業費ベース進捗率は、10%となっている。 しかしながら、平成 21 年 3 月 31 日に、国土交通省から、費用便益比の見直し結果による平成 21 年度の事業執行の見合わせが公表された。		
3	一般国道 106 号の直轄指定区間編入について (国、県)	東北地方整備局道路部から、最近では、3 桁国道については、全国的に直轄管理区間に編入しない方向である旨の説明を受けているが、直轄管理区間に編入することがネットワーク上から好ましいと考えている。		
4	一般国道 4 号「盛岡北道路」の拡幅整備の促進について	岩手河川国道事務所が建設予定地となる農林水産省、試験研究機関等と協議に入り、環境影響評価を実施。平成 20 年 7 月都市計画決定された。		
5	一般国道 4 号「渋民バイパス」の全線整備促進について	一般国道 4 号の渋民バイパス(全体区間 5.6 km)のうち、未着工区(約 3.1km)について 平成 21 年度予算 工事費・用地補償費 690,000 千円		
6	道路局所管盛岡市道路整備事業の推進について (国、県)	(千円)		
	区分	要 望 内 容	要望成果	
	路 線 名	工 種	要 望 額	
継続	北松園四丁目小鳥沢線	道路改築	150,000	112,000
新規	厨川駅地下自由通路	交通安全	368,000	368,000
継続	中ノ橋通一丁目八幡町線	道路改築	100,000	100,000
新規	新幹線側道 2 号線ほか	"	38,000	38,000
継続	赤林横道線	"	70,000	70,000
	計		726,000	688,000



No.	件名	要望成果																												
7	都市・地域整備局所管盛岡市街路事業の推進について (国, 県)	(千円) <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="3">要望内容</th> <th rowspan="2">要望成果</th> </tr> <tr> <th>路線名</th> <th>工種</th> <th>要望額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>継続</td> <td>梨木町上米内線</td> <td>道路改築</td> <td>350,000</td> <td>350,000</td> </tr> <tr> <td>"</td> <td>盛岡駅南大橋線</td> <td>"</td> <td>500,000</td> <td>未確定</td> </tr> <tr> <td>新規</td> <td>明治橋大沢川原線</td> <td>"</td> <td>400,000</td> <td>400,000</td> </tr> <tr> <td></td> <td>計</td> <td></td> <td>1,250,000</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	区分	要望内容			要望成果	路線名	工種	要望額	継続	梨木町上米内線	道路改築	350,000	350,000	"	盛岡駅南大橋線	"	500,000	未確定	新規	明治橋大沢川原線	"	400,000	400,000		計		1,250,000	
区分	要望内容			要望成果																										
	路線名	工種	要望額																											
継続	梨木町上米内線	道路改築	350,000	350,000																										
"	盛岡駅南大橋線	"	500,000	未確定																										
新規	明治橋大沢川原線	"	400,000	400,000																										
	計		1,250,000																											
8	一般国道46号「盛岡西バイパス」の整備促進について (国, 県)	延長7.8kmのうち、盛岡南新都市土地区画整理区域(向中野地区)の一部から終点の一般国道46号(前潟地区)までの区間、5.6kmが部分供用されている。また、同土地区画整理区域界までの1.1kmについて、平成22年度部分供用の計画となっている。なお、始点の上米内湯沢線(永井第1地割地区)から同土地区画整理地区界までの間、1.1kmについては、用地測量や境界立会い等の作業が進められている。																												
9	盛岡南新都市土地区画整理事業の着実な整備促進について (国, 県)	平成20年度末の土地区画整理事業の進捗率は、事業費ベースで約87%となっている。 (千円) <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">要望内容</th> <th>要望成果</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>通常費</td> <td>18,000</td> <td>20,000</td> </tr> <tr> <td>促進費</td> <td>322,000</td> <td>462,000</td> </tr> <tr> <td>交付金</td> <td>1,960,000</td> <td>1,834,000</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>2,300,000</td> <td>2,316,000</td> </tr> </tbody> </table>	要望内容		要望成果	通常費	18,000	20,000	促進費	322,000	462,000	交付金	1,960,000	1,834,000	計	2,300,000	2,316,000													
要望内容		要望成果																												
通常費	18,000	20,000																												
促進費	322,000	462,000																												
交付金	1,960,000	1,834,000																												
計	2,300,000	2,316,000																												
10	盛岡市公共下水道事業費等の確保及び県施行流域下水道事業の整備促進について(国, 県)	公共下水道事業費 合計 2,064,000千円 (内訳) 通常費(新市街地下水道含む) 1,046,000千円 合流緊急改善事業費 1,018,000千円																												
11	盛岡市内の直轄管理河川北上川水系治水事業の促進について	雫石川左岸, 北上川, 中津川との三川合流部の陸間が整備された。																												
12	岩手県管理河川改修事業の促進について (国, 県)	岩手県管理河川改修事業費 合計 894,000千円 (千円) <table border="1"> <tbody> <tr> <td rowspan="3">木賊川</td> <td>分水路工</td> <td>L=230m</td> </tr> <tr> <td>導水路詳細設計</td> <td>一式</td> </tr> <tr> <td>用地測量</td> <td>一式</td> </tr> <tr> <td></td> <td>計</td> <td>470,000</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">南川</td> <td>二層河川工</td> <td>L=30m</td> </tr> <tr> <td>道路横断函渠工</td> <td>L=30m</td> </tr> <tr> <td>用地補償</td> <td>一式</td> </tr> <tr> <td>調査設計等</td> <td>一式</td> </tr> <tr> <td></td> <td>計</td> <td>422,000</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">北上川</td> <td>用地補償</td> <td>一式</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>2,000</td> </tr> </tbody> </table>	木賊川	分水路工	L=230m	導水路詳細設計	一式	用地測量	一式		計	470,000	南川	二層河川工	L=30m	道路横断函渠工	L=30m	用地補償	一式	調査設計等	一式		計	422,000	北上川	用地補償	一式	計	2,000	
木賊川	分水路工	L=230m																												
	導水路詳細設計	一式																												
	用地測量	一式																												
	計	470,000																												
南川	二層河川工	L=30m																												
	道路横断函渠工	L=30m																												
	用地補償	一式																												
	調査設計等	一式																												
	計	422,000																												
北上川	用地補償	一式																												
	計	2,000																												



No.	件名	要望成果																														
13	都市基盤河川改修事業に係る国庫補助金の確保について (国, 県)	都市基盤河川改修事業費 (南川) 合計 300,000 千円 (内訳) 函渠工 (L=57m) 149,300 千円 公管金 130,000 千円 測定等 (一式) 20,700 千円																														
14	一級河川北上川水系築川ダム建設事業の促進について (国, 県)	築川ダム建設事業費 合計 1,886,000 千円 (内訳) 国道106号付替道路 (橋梁, 道路) 一式 県道盛岡大迫東和線 ( " ) 一式																														
15	急傾斜地崩壊対策事業及び砂防事業の財源確保について (国, 県)	急傾斜地崩壊対策事業 (内訳) 下米内二丁目地区 (用地測量) 10,000 千円																														
16	携帯電話の不感地域解消対策の推進について (国・県) ※平成22年度要望なし	携帯電話等エリア拡大整備事業に参入する携帯電話事業者が無かったため、国庫補助事業とはならなかった。 別途、NTTドコモ東北に要望を行ったところ、平成21年度に町村地区において、補助事業ではなく、自主事業としてエリア化を計画する回答書の提出があった。																														
17	国指定史跡志波城跡保存整備事業、盛岡城跡保存整備事業及び盛岡城跡保存管理計画策定事業に係る国庫補助金の交付について	<p>志波城跡保存整備事業 (千円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">要望内容</th> <th rowspan="2">要望成果</th> </tr> <tr> <th>項目</th> <th>事業費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>用地取得</td> <td>(441 m<sup>2</sup>) 20,028</td> <td>(441 m<sup>2</sup>) 20,028</td> </tr> <tr> <td>史跡整備 (保存整備工事等)</td> <td>50,000</td> <td>50,000</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>70,028</td> <td>70,028</td> </tr> </tbody> </table> <p>盛岡城跡保存整備事業 (千円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">要望内容</th> <th rowspan="2">要望成果</th> </tr> <tr> <th>項目</th> <th>事業費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>石垣変位調査 (史跡案内・解説板作成)</td> <td>2,000</td> <td>2,000</td> </tr> </tbody> </table> <p>盛岡城跡保存管理計画策定事業 (千円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">要望内容</th> <th rowspan="2">要望成果</th> </tr> <tr> <th>項目</th> <th>事業費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>保存管理計画 (史跡全体測量図作成, 保存管理計画策定委員会開催)</td> <td>6,000</td> <td>4,600</td> </tr> </tbody> </table>	要望内容		要望成果	項目	事業費	用地取得	(441 m <sup>2</sup> ) 20,028	(441 m <sup>2</sup> ) 20,028	史跡整備 (保存整備工事等)	50,000	50,000	計	70,028	70,028	要望内容		要望成果	項目	事業費	石垣変位調査 (史跡案内・解説板作成)	2,000	2,000	要望内容		要望成果	項目	事業費	保存管理計画 (史跡全体測量図作成, 保存管理計画策定委員会開催)	6,000	4,600
要望内容		要望成果																														
項目	事業費																															
用地取得	(441 m <sup>2</sup> ) 20,028	(441 m <sup>2</sup> ) 20,028																														
史跡整備 (保存整備工事等)	50,000	50,000																														
計	70,028	70,028																														
要望内容		要望成果																														
項目	事業費																															
石垣変位調査 (史跡案内・解説板作成)	2,000	2,000																														
要望内容		要望成果																														
項目	事業費																															
保存管理計画 (史跡全体測量図作成, 保存管理計画策定委員会開催)	6,000	4,600																														



## 平成 21 年度県予算要望成果

( 県のみ要望した項目 2 件 )

No.	件 名	要 望 成 果																																										
1	盛岡市内の県道の整備促進について	(千円)																																										
		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2" style="width: 5%;">区分</th> <th colspan="3" style="text-align: center;">要 望 内 容</th> <th rowspan="2" style="width: 10%;">要 望 成 果</th> </tr> <tr> <th style="width: 15%;">路 線 名</th> <th style="width: 15%;">地 区 名</th> <th style="width: 15%;">工 種</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">継続</td> <td>大ヶ生徳田線 (徳田橋架替)</td> <td>乙部地区</td> <td>橋架替</td> <td style="text-align: center;">10,000</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">〃</td> <td>盛岡和賀線</td> <td>下飯岡地区</td> <td>道路改築</td> <td style="text-align: center;">未確定</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">〃</td> <td rowspan="2">向中野安倍館線</td> <td>仙北地区</td> <td>道路改築</td> <td style="text-align: center;">156,000</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">〃</td> <td>上堂地区</td> <td>道路改築</td> <td style="text-align: center;">未確定</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">〃</td> <td>渋民川又線</td> <td>門前寺地区, 鷹高地区</td> <td>歩道新設</td> <td style="text-align: center;">未確定</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">新規</td> <td>大更好摩線・ 好摩停車場線</td> <td>好摩地区</td> <td>歩道新設</td> <td style="text-align: center;">未確定</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">〃</td> <td>盛岡駅長田町線</td> <td>長田町地区</td> <td>道路改築</td> <td style="text-align: center;">300,000</td> </tr> </tbody> </table>	区分	要 望 内 容			要 望 成 果	路 線 名	地 区 名	工 種	継続	大ヶ生徳田線 (徳田橋架替)	乙部地区	橋架替	10,000	〃	盛岡和賀線	下飯岡地区	道路改築	未確定	〃	向中野安倍館線	仙北地区	道路改築	156,000	〃	上堂地区	道路改築	未確定	〃	渋民川又線	門前寺地区, 鷹高地区	歩道新設	未確定	新規	大更好摩線・ 好摩停車場線	好摩地区	歩道新設	未確定	〃	盛岡駅長田町線	長田町地区	道路改築	300,000
区分	要 望 内 容			要 望 成 果																																								
	路 線 名	地 区 名	工 種																																									
継続	大ヶ生徳田線 (徳田橋架替)	乙部地区	橋架替	10,000																																								
〃	盛岡和賀線	下飯岡地区	道路改築	未確定																																								
〃	向中野安倍館線	仙北地区	道路改築	156,000																																								
〃		上堂地区	道路改築	未確定																																								
〃	渋民川又線	門前寺地区, 鷹高地区	歩道新設	未確定																																								
新規	大更好摩線・ 好摩停車場線	好摩地区	歩道新設	未確定																																								
〃	盛岡駅長田町線	長田町地区	道路改築	300,000																																								
2	2巡目岩手国体主会場の誘致等について	<p>主会場（開・閉会式会場）については、第71回国民体育大会岩手県準備委員会において十分審議し、選定していく予定としている。</p> <p>県営運動公園陸上競技場を第1種公認陸上競技場として維持するには、およそ17億円の経費が必要であることから、今後、国体の主会場の選定動向等を踏まえつつ、現下の厳しい財政状況のもとで、施設のあり方がどうあればいいのか引き続き検討する。</p>																																										